



## 2009年度、社友会総会・懇親会開催のお知らせ

- 開催日 ; 2009年7月13日(月曜日) 12:00~14:00(開場11:30)
- 会場 ; 「如水会館」(昨年と同一会場)  
千代田区一ツ橋2-1-1 TEL. 03-3261-1101  
スターホール2F, クロークは1Fのみです。
- アクセス ; 地下鉄・東西線・竹橋駅 1b出口 徒歩4分  
都営三田線、都営新宿線、半蔵門線  
A9番出口は白山通りの反対側に出ますがエレベーター・エスカレーターが利用できます。
- 会費 ; **当日会費3,000円**、受付にてお支払い下さい。  
実費7,000円ですが、内、社友会で4,000円負担。
- 出欠の確認 ; 会場の手配の都合上、6月10日までに、同封の返信用はがきに必要事項  
ご記入頂き、投函願います。  
尚、E-Mailご希望の場合は、下記アドレスまで、  
氏名、住所、電話番号ご記入の上、出欠のご確認をお願いします。

ニチメン東京社友会事務局  
menkwa@sojitz.com

以上



## 2009年度新年賀詞交歓会報告

世話人代表 倉 又 則 夫

深刻化する経済・雇用情勢報道が募る中、幕を明けた平成21年でしたが、1月19日は好天に恵まれ、第二回目の賀詞交歓会を開催することができました。

今回も会場の提供、設営に協力を賜った双日(株)、並びにその関係者の皆様に先づもって厚く御礼申し上げます。

会場の双日(株)西館7階の広い会議室には早くから、新年を寿ぎ久闊を叙するOB・OGの皆さんの談笑の輪が広がる中、定刻の12時には双日の土橋会長、加瀬社長を始め、多くの役員の方々が勢揃いされ、今回は一層の華をと起用した小堀裕子さん(元原動機部勤務)の司会で新年会の開幕となりました。

冒頭、丸山会長の挨拶、来賓の土橋会長のご挨拶、ご出席役員のご紹介を戴いた後、恒例となったご長寿者への表彰が行なわれました。今回は対象の方々6名のうち、望月昌徳さん、山木重貞さん、加藤信一郎さんがお元気なお姿を見せられ、参加の皆さんから祝福と称賛が寄せられました。受彰者を代表して加藤さんをご挨拶、その老後の生き方、特に趣味の蝶の蒐集はプロはだし、大阪市立自然博物館に陳列されている東南アジア産蝶蛾の加藤コレクションとして結実している由、大いに啓発された次第です。

木村次郎さんの乾盃から高木恒久さんの中締め迄、宴は熱く続き、皆去り難き思いを7月の総会・懇親会に託し、2時半散会となりました。

今回も一人の故障も混乱もなく、無事盛況裡に新年会を終えることが出来ましたことは、ボランティアの女性陣、滑川和子・今川恵子・増川恵子・木津奈緒子・小堀裕子さん、そして我田引水ながら担当世話人チームの献身的裏方力の賜物と感謝申し上げ、新年会報告と致します。



## 挨拶 於 新年賀詞交歓会

会長 丸 山 修 作



えー、皆さん 新年明けましておめでとうございます。

昨年は、一昨年の後半、米国に端を発した金融破綻のおかげで、米国のみならず世界の多くの国々、企業、そして個人までが手痛い被害を蒙っております。

しかし、時は容赦なく過ぎ去り、また新しい年を迎えました。そんな中で、我がニチメン東京社友会は、双日株式会社のご好意によりまして、昨年に引き続き、第2回の新年会を迎えることができました。

本日は、双日から土橋会長、加瀬社長をはじめとして幹部の方々多数のご出席を頂いております。心からお礼を申し上げたいと思います。

さて我が社友会は創立以来2年半、会員数も徐々に増えておりまして、本日現在630名に達しようかと思っております。皆さんに一層親しまれる会にすべく、世話人一同も日頃知恵を絞っております。例えば、会報の内容をさらに充実する、そしてホームページの作成には専門の業者も入れ、一層斬新な企画・デザインの開発に努めております。徐々にではありますが、成果が出て来ておるものと思っております。

会員の皆さんには引き続き会の将来に資する忌憚のないご意見をどしどしと事務局へお寄せいただければ幸いです。

世は將に変革の時、明日は愈々米国史上初の黒人大統領が誕生します。米国人のみならず、世界の多くの人々がオバマ米国新大統領の出現とその手腕、機動力に、大きな期待を寄せているものと思っておりますが、果たしてこれが吉と出るか、凶と出るか、いづれにしても今後の世界の政治・経済が現状に留まることなく、一段と悪化するのか、良くなるのか、変革の時期に差しかかっているものと思われま。

既に多数の方がご覧になっているかと思っておりますが、最近の双日のテレビコマーシャルは目を引きま。

双日はニチメンと日商岩井の100年の歴史の上に誕生した総合商社であります、と高らかに宣言し、その業務内容を紹介しております。そして、その業務の全てに裏打ちされているものは「誠実」、誠実であるということ強く訴えております。この殺伐とした世に「誠実」というモットーを双日の企業PRに使っておる。これは我々ニチメンOBのみならず、日商岩井出身の方々にも、また多くの一般視聴者にも大変新鮮味を与えるものでありましようし、「誠実」をもって力強く伸びる双日の姿を強く印象づけておるものと思っております。双日の一段の飛躍の時来る、と確信しております。

のちほど社友会の規定に沿った長寿会員の方々に対するお祝いがあると思っておりますが、会員の皆さん、健康の保持に一層のご配慮をいただき、迎えたこの年が佳き年でありますように、またマーケットも今年の干支と同じ様にブル相場に早くなる事を切に願って、健やかにこの年を過ごそうではありませんか。

本日は多数のご来席を得て、心より感謝します。どうも有難うございました。



## 来賓ご挨拶 於 新年賀詞交歓会

双日(株)会長 土 橋 昭 夫



正月も19日になりまして、些か間の抜けた挨拶になりますが、本年お初にお目にかかる方が大多数でございますので、皆様、新年あけましておめでとうございます。

平素は双日の経営に対し温かいご支援・ご声援を賜りまして、誠にありがとうございます。

ただ今、「おめでとうございます」と申し上げましたが、本日は皆様、お元気にお集まりになり新しい年をお迎えになりまして、誠におめでたいわけですが、経営にとりましては、あまり相応しくない、似合わない言葉ではないかなと思っております。

ご存知の様に、昨年9月にリーマンショックがありまして、それ以降は世の中の情勢が一変致しました。当社におきましても、昨年の中間決算は、過去最高の数字を記録することが出来ましたが、この下期はやはりアメリカ発の金融不安という大きな波に飲み込まれ、大変厳しい決算になろうかと思っております。

本来ですと、この下期の見通しをご案内するのが筋では御座いますが、いかんせん、この3月末の株価、為替、更には市況動向等が、まったく見えない、予測が非常に難しい状況にあり、本日のところは、「大変厳しくなる」ということだけをお伝えするに留めておきます。

このように大変厳しい訳ではございますが、考えて見ますと、当社は合併して5年が過ぎまして、6年目になる訳でございます。現在の厳しさは、確かに大変厳しいものでございますが、数年前の当社が置かれていた状況は、これ以上に厳しいものではなかったかと思っております。我々はそのような厳しい中を、役職員一同、一丸となって切り抜けて来たという自負が御座います。従いまして、今回のこの危機も力を合わせ、何とか切り抜けて行きたいと思っております。

幸いに致しまして、当社はこの金融危機の前に財務体質の強化が終わりました。一昨年は優先株を一掃致しまして、資本構造の再構築が出来ました。また、当社の確実な収益力というものを格付機関からも認められまして、投資適格であるトリプルBを獲得出来ました。今のような情勢では、何と云ってもキャッシュ、手元流動性が非常に重要でございます。当社はこれに就きましても、昨年9月に主要行を中心とする数行との間で1千億円のコミットメントラインの設定契約を済ませ、こちらの方も万全を期しております。

当社は、この4月から新しい中期経営計画に入るわけで、この中期経営計画については、去年の夏あたりから着手しております。しかしながら、ごらんのような状況でございますので、再三作り変えており、間もなく発表する段階にござっております。

大変厳しい訳ではございますが、こういう状況のもとにおきまして、当社の今後の経営は、いたずらに数字・量、或いは規模を追い求めることでなく、しっかりとした質の向上に努めて参りたいと思っております。積極的に資産を入れ替えまして、ポートフォリオ管理を徹底して参りたいと思っております。引き続き皆様方におかれましては、ご支援のほどを宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、社友会の益々のご発展と、また本日お集まりの皆様方の今年一年が良き年になりますことを祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## ご長寿お祝い表彰会員挨拶

表彰会員代表 加 藤 信一郎



明けましてお目出度うございます。

本日は新年祝賀の席上で、沢山の皆様方より私共の米寿のお祝いをして頂き、その上過分の記念品まで頂戴し、誠に有難く、感謝し厚くお礼申し上げます。

私事になり恐縮ですが、昭和18年学徒動員で、出征し、フィリピンで戦い、九死に一生を得て帰還し、その後は日本の復興の時期をニチメンで過ごして参りました。

退職後はささやかな庶民の暮らしを満喫していました処、丁度14年前の一昨日、悪夢の様な一瞬、それは平成7年1月17日の阪神淡路大震災でした。  
永年住み慣れた宝塚の家を失ないました。

ところで、余談になりますが、在職当時、職場の皆様のご理解に甘えて、沖縄、フィリピン、そしてインドネシアへ行き、採集した沢山の標本箱は地震で無残に壊れてしまいました。

氣を取り直し、壊れずに残った標本箱を整理して早速大阪市立自然史博物館に寄贈しましたら、翌年の4月、思いがけなく 加藤信一郎コレクション として特別展示をして頂き、同時に招待を受け、採集品の蝶との別れを致しました。

そして13年前に、息子の縁で70才半ばにして初めて埼玉の片田舎に移って参りました。

昨今は大分、頭も体も衰えて来ましたが、子供の頃からの趣味の昆虫採集はライフワークとして今も続けており、地元の小学校で年に1回展示をして微力ながら、地域に貢献しています。

今は家内と2人暮らしで、健康に注意し、1日々々を大切に暮らしております。

この年まで無事に過せ、その上こんな形で年の祝をして貰い、心から倅せ者だと思っています。

本日は晩年の私にとって良い思い出になる1日を本当に感謝しています。

有難うございました。

どうぞ皆様方も寒さの折柄、お元気にお過ごし下さい。

誠に粗辞ながらお礼のご挨拶とさせていただきます。



## ◎平成21年1月19日開催 ニチメン東京社友会 賀詞交歓会 出席者名

〔註〕配列は原則として50音順。(\*)=非会員

No.	[ 来 賓 ]	No.		No.	
1	土 橋 昭 夫 (*)	43	小 田 有 久	89	並 木 正
2	加 瀬 夫 豊 (*)	44	小 野 賢 次	90	滑 川 和 正
3	鈴 木 讓 治	46	力 河 西 郁 良	91	成 見 和 男
4	市 磯 正 啓 夫 資	47	河 勝 西 田 泰 玲	92	南 西 部 田 村 昭 照
5	石 原 哲 也 夫 志 (*)	48	勝 加 藤 沢 英 達	93	西 西 田 村 昭 照
6	此 田 木 井 正 謙 二 夫 (*)	49	加 金 上 川 西 津 奈 緒 子 朗 明 三 夫 雄 彌 勝 幸 子 (*)	94	西 西 田 村 昭 照
7	茂 木 井 崎 正 謙 二 夫 (*)	50	上 川 西 津 奈 緒 子 朗 明 三 夫 雄 彌 勝 幸 子 (*)	95	西 西 田 村 昭 照
8	花 井 崎 正 謙 二 夫 (*)	51	川 西 津 奈 緒 子 朗 明 三 夫 雄 彌 勝 幸 子 (*)	96	西 西 田 村 昭 照
9	岡 崎 正 謙 二 夫 (*)	52	木 津 奈 緒 子 朗 明 三 夫 雄 彌 勝 幸 子 (*)	ハ	芳 賀 信
10	松 木 幸 夫 (*)	53	木 村 城 田 又 持 次 久 重 靖 裕 幸 子 (*)	98	橋 爪 昭 春 一 彦 洋 雄 郎 勇 恭 人 亨 己 雄 彦 郎 也 孝 三 雄 生 子 (*)
11	西 村 俊 郎 (*)	54	木 金 窪 倉 栗 小 小 堀 枝 原 藤 悦 克 武 哲 佳 郁 宏 忠 正 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	99	羽 島 昭 春 一 彦 洋 雄 郎 勇 恭 人 亨 己 雄 彦 郎 也 孝 三 雄 生 子 (*)
	[長寿表彰者]	55	倉 又 持 次 久 重 靖 裕 幸 子 (*)	100	橋 爪 昭 春 一 彦 洋 雄 郎 勇 恭 人 亨 己 雄 彦 郎 也 孝 三 雄 生 子 (*)
12	加 藤 信 一 郎	56	倉 又 持 次 久 重 靖 裕 幸 子 (*)	101	長 谷 川 崎 俊 和 栄 信 義 人 亨 己 雄 彦 郎 也 孝 三 雄 生 子 (*)
13	望 月 昌 徳 貞	57	倉 又 持 次 久 重 靖 裕 幸 子 (*)	102	花 崎 澤 俊 和 栄 信 義 人 亨 己 雄 彦 郎 也 孝 三 雄 生 子 (*)
14	山 木 重 貞	58	栗 田 久 重 靖 裕 幸 子 (*)	103	花 崎 澤 俊 和 栄 信 義 人 亨 己 雄 彦 郎 也 孝 三 雄 生 子 (*)
	[一般会員その他]	59	小 西 林 重 靖 裕 幸 子 (*)	104	花 壇 生 口 林 澤 克 幹 一 雄 太 郎 也 孝 三 雄 生 子 (*)
ア	青 木 聡 弥 行 彦 道 雄 晨 清 格 通 保 子 一 夫 雄 子 (*)	60	小 小 堀 枝 原 藤 悦 克 武 哲 佳 郁 宏 忠 正 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	105	浜 林 半 久 廣 廣 廣 深 藤 本 牧 増 川 尾 山 丸 水 溝 宮 村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
16	青 木 繁 正 彦 道 雄 晨 清 格 通 保 子 一 夫 雄 子 (*)	61	小 小 堀 枝 原 藤 悦 克 武 哲 佳 郁 宏 忠 正 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	106	林 澤 克 幹 一 雄 太 郎 也 孝 三 雄 生 子 (*)
17	浅 井 正 重 武 盛 晨 清 格 通 保 子 一 夫 雄 子 (*)	62	小 小 堀 枝 原 藤 悦 克 武 哲 佳 郁 宏 忠 正 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	107	半 久 廣 廣 廣 深 藤 本 牧 増 川 尾 山 丸 水 溝 宮 村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
18	朝 倉 重 武 盛 晨 清 格 通 保 子 一 夫 雄 子 (*)	63	佐 藤 悦 克 武 哲 佳 郁 宏 忠 正 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	108	久 廣 廣 廣 深 藤 本 牧 増 川 尾 山 丸 水 溝 宮 村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
19	荒 木 武 盛 晨 清 格 通 保 子 一 夫 雄 子 (*)	64	分 一 谷 武 哲 佳 郁 宏 忠 正 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	109	廣 廣 廣 深 藤 本 牧 増 川 尾 山 丸 水 溝 宮 村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
20	新 崎 武 盛 晨 清 格 通 保 子 一 夫 雄 子 (*)	65	三 分 一 谷 武 哲 佳 郁 宏 忠 正 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	110	廣 廣 廣 深 藤 本 牧 増 川 尾 山 丸 水 溝 宮 村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
21	幾 島 武 盛 晨 清 格 通 保 子 一 夫 雄 子 (*)	66	洪 谷 武 哲 佳 郁 宏 忠 正 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	111	廣 廣 廣 深 藤 本 牧 増 川 尾 山 丸 水 溝 宮 村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
22	池 田 武 盛 晨 清 格 通 保 子 一 夫 雄 子 (*)	67	清 水 武 哲 佳 郁 宏 忠 正 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	112	廣 廣 廣 深 藤 本 牧 増 川 尾 山 丸 水 溝 宮 村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
23	池 本 俊 博 保 子 一 夫 雄 子 (*)	68	白 石 武 哲 佳 郁 宏 忠 正 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	113	廣 廣 廣 深 藤 本 牧 増 川 尾 山 丸 水 溝 宮 村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
24	石 川 博 保 子 一 夫 雄 子 (*)	69	杉 本 定 藤 悦 克 武 哲 佳 郁 宏 忠 正 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	114	廣 廣 廣 深 藤 本 牧 増 川 尾 山 丸 水 溝 宮 村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
25	石 黒 由 紀 子 一 夫 雄 子 (*)	70	祐 定 藤 悦 克 武 哲 佳 郁 宏 忠 正 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	115	廣 廣 廣 深 藤 本 牧 増 川 尾 山 丸 水 溝 宮 村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
26	石 澤 謙 一 夫 雄 子 (*)	71	菅 生 藤 悦 克 武 哲 佳 郁 宏 忠 正 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	マ	増 川 尾 山 丸 水 溝 宮 村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
27	泉 伸 安 恵 子 (*)	72	須 藤 悦 克 武 哲 佳 郁 宏 忠 正 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	117	増 川 尾 山 丸 水 溝 宮 村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
28	伊 藤 安 恵 子 (*)	タ	大 工 原 正 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	118	松 尾 山 丸 水 溝 宮 村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
29	今 田 居 宏 昭 恒 則 三 子 生 治 生 雄 作 雄 男 也	74	高 木 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	119	丸 山 丸 水 溝 宮 村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
30	岩 田 居 宏 昭 恒 則 三 子 生 治 生 雄 作 雄 男 也	75	高 木 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	120	水 野 江 浦 井 靖 孝 雄 光 治 孝 一 造 浩 健 策
31	岩 田 居 宏 昭 恒 則 三 子 生 治 生 雄 作 雄 男 也	76	高 木 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	121	溝 宮 村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
32	岩 田 居 宏 昭 恒 則 三 子 生 治 生 雄 作 雄 男 也	77	高 木 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	122	宮 村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
33	浦 下 谷 弘 静 子 生 治 生 雄 作 雄 男 也	78	高 木 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	123	村 矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
34	大 塚 静 子 生 治 生 雄 作 雄 男 也	79	高 木 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	ヤ	矢 島 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
35	大 塚 静 子 生 治 生 雄 作 雄 男 也	80	高 木 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	125	山 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
36	大 塚 静 子 生 治 生 雄 作 雄 男 也	81	高 木 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	126	山 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
37	大 塚 静 子 生 治 生 雄 作 雄 男 也	82	高 木 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	127	山 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
38	大 塚 静 子 生 治 生 雄 作 雄 男 也	83	高 木 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	128	山 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
39	大 塚 静 子 生 治 生 雄 作 雄 男 也	84	高 木 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	129	山 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
40	大 塚 静 子 生 治 生 雄 作 雄 男 也	85	高 木 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	130	山 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
41	大 塚 静 子 生 治 生 雄 作 雄 男 也	86	高 木 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	131	山 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
42	大 塚 静 子 生 治 生 雄 作 雄 男 也	87	高 木 亨 恒 允 善 秀 泰 宗 久 順 子 昌 久 幸 慎 啓 喜 行 郎	132	山 岸 正 一 富 良 陽 秀 一 造 浩 健 策
		ナ	名 島 憲 一 郎	ラ	立 古 健 策

(合計133名)





## OB 会 の 開 催 予 定

OB 会 名	日 付	開 催 場 所
ニチメン慶應会	6月20日(土) 12:00～	八重洲富士屋ホテル
ニチメン東京化工OB会	10月16日(金) 18:00～	鉄 鋼 会 館
ニチメン機友会	10月24日(土) 12:00～	八重洲富士屋ホテル



## 第15回食料OB会 報告

倉 持 次 雄

第15回食料OB会は、お堀の桜が緑に変わりつつある2009年4月18日(土)、如水会館のレストラン・「ジュピター」で行われました。

参加者は合計58名、とりわけ元OLの方々の出席が新記録の17名となり、このため会場はいつもより華やかな雰囲気になりました。

池田世話人代表の司会進行で、定刻12時に始めましたが、型どおりの開会の辞(倉持)の後、乾杯の音頭をOG・(旧姓笠島)片瀬澤子さんをお願いして、満場の拍手に迎えられました。

今年のもう一つの特徴は、夫婦会員が3組も参加して下さったことです。

この中からカップル代表として(旧姓伊藤)大村千恵子さんの御挨拶を頂き、これまた満場の拍手を浴びました。更に今年は、大病を克服して数年振りに顔を出した大塚勝英さん、西宮市在住の岡本英資さん、新会員となった橋本昌二さん、バンコク在住の須佐美繁夫さんが例年通りこの会に合わせて一時帰国、などなど多様な面々の参加で、会は大いに盛り上がりました。

双日(株)現役からは、生活産業部門食料担当部門長補佐の吉川正晃さんに参加を頂き、会社の現況についてお話を頂きました。

中締めは今村豊明さん、しっかりとした一本締めで会を締めくくって下さいました。

約2時間の短い集まりでしたが、皆さんあちこちに塊を作り、大いに話が弾み、いっぺんに解散ということにはなりませんでした。

尚、今回も全て円滑に進んだのは、会場設営ほか準備万端、事務局役の小野宗一さん、佐藤武宣さんのご尽力の賜物です。お疲れ様でした。

——以下は、出席者の名簿です(男女別アイウエオ順、敬称略)——

(男性 41名)

幾島 清	池田 照幸	池本 俊通	今井 保己	今村 豊明	入野 英次
大塚 勝英	大村 善勇	岡本 英資	小野 宗一	笠井 公雄	倉持 次雄
紅林 哲夫	黒住 厚	坂本 晤	桜井 征夫	佐渡 隆	佐藤 悦三
佐藤 三朗	佐藤 武宣	渋谷 義	須佐美繁夫	高瀬 允宏	高松 宗信
田中 清	津坂 譲	土田 成穂	外村和之介	土橋 勇	中西 常雄
蜷川 親秀	橋本 昌二	服部 忠雄	久下 真司	藤澤 裕武	松沢 幸雄
松田 實	村井 靖武	諸橋 良吉	吉川 敏朗	渡利 陽。	

(女性 17名)

石田百合子	大塚 静子	大村千恵子	岡 妙子	片瀬 澤子	木崎 寿子
五月女美代子	桜井 妙子	佐藤亜喜子	佐藤 照子	末包恵美子	鈴木 隆子
須田 博子	成富 徳子	長谷川梅子	藤倉 待子	村井恵以子。	

## 第26回ニチメン湘南会GOURMET会開催

長谷川 洋

2009年4月28日、横浜中華街・ROSE HOTEL・重慶飯店新館にて伝統の“湘南グルメ会”を開催す。初代名誉会長・故安藤幸男さんの遺徳を偲び、今回も多くのOBが参集しました。安藤さんの後継名誉会長・野村喜久雄さんには、今回も大阪から遥々お越しいただいた。会長・岩田昭二さんの乾杯の御発声で、宴はスタートす。会えばいつも話しに華が咲き尽きることが無い。

家で奥さんに世話ばかり焼かれ、小言を聞いているより、この会に出て来ることが如何に精神衛生上、良いことか！との意見には全く同感。

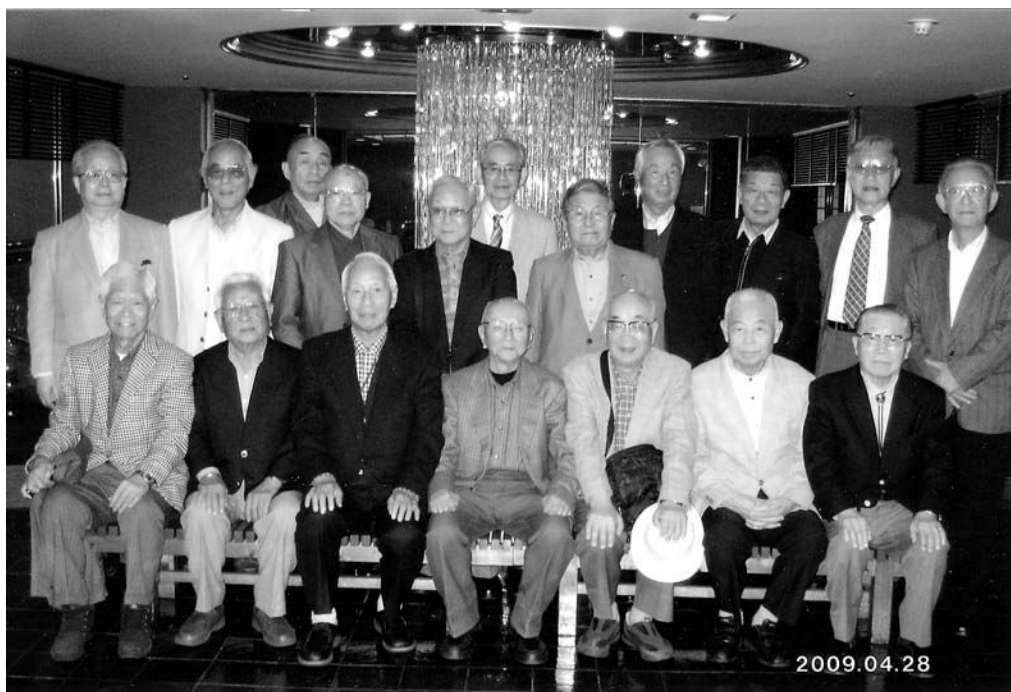
出席者の殆んどは、身体はどこかに疾病を抱えている。

玄関先で転倒して顔面骨折の人や、風呂場で倒れて救急車を呼んだ人、左右の膝を、夫々手術して、杖を突いてもご参加の人と、皆さんに御会いたいの一念でご参加と思います。

一方、先日、麻雀を連続6時間余もやられたと言う野村さんのお元気さには誰も敵わない。凡人は、真似をしないで下さい。

皆様、無理をせずに、ご自愛の上、末永く本会を維持して行きたいと思います。

グルメ会は、元々、グルメ&談笑によって、Anti-aging とLive longが目的です。



\*前列 左から；高瀬 善男、笠井 公雄、岩田 昭二、野村喜久雄、立古 健策、北村 俊夫、藤野 泰三。

\*後列 左から；長谷川 洋、本田 務、北川 敬、佐藤 鉄雄、丸山 泰三、鎌田 亮三、久澤 克己、水庫 博夫、新崎 盛晟、山邑 陽一、宮本 正博。(敬称略)。

## 私の青春時代

平成二十年(2008年)十月 記

加 藤 信一郎



今年も慌しく暮れようとしています。

この九月で満86才になりました。

そこで、若かった時代を一寸振り返って見ました。

私は青春時代を丁度昭和十年代から終戦後の 混乱の中で過しました。

昭和十五年(1940年)、新設された神戸商大予科の一回生として入学、在校中は親しくご指導頂いた予科長で、修身の教授も兼務されていた氏家賢次郎氏(後日、同氏は昭和20年(1945年)2月硫黄島で戦死)のご自宅を訪問し、その時頂いた色紙には「平常心是道」と記載、一愚生と署名捺印された直筆でした。

それから私は昭和十八年(1943年)十二月、学徒動員に依り当時、本籍地のあった九州の大分市で徴兵検査を受け、宮崎県都城市の 西部17部隊に入隊、熊本予備士官学校に入学、門司港から江尻丸でフィリピンに出征しました。

途中リングアエンの沖でアメリカ海軍の潜水艦に撃沈され、漂流して日没後、日本海軍の駆潜艇に救助されマニラに上陸、それから半年間北部ルソンの山中をさ迷いました。

このように九死に一生を得て、大阪商船高砂丸で昭和二十年(1945年)十二月一日浦賀港に復員することができましたが、その間いつも氏家氏から頂いた一句が脳裏に刻み込まれていました。長かった人生 氏家先生から頂いたお言葉通りには仲々行きませんが、できるだけ平常心を心掛けて過ごしたいと思っています。

唐突な手紙と思われるかも知れませんが、思いつくまゝに記しました。

ご笑覧下さい。

まだこれから寒さが続きます。呉々も御身御大切に良い年をお迎え下さい。

因みに、第二次世界大戦は昭和十四年(1939年)に勃発、終戦は昭和二十年(1945年)八月五日でした。

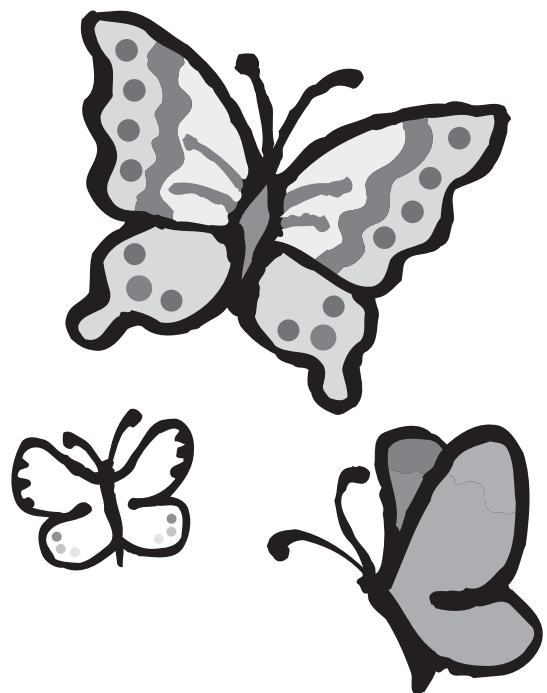
### ① 第一次世界大戦

大正三年(1914年) 七月～大正八年(1919年)十一月ヨーロッパを中心に世界的規模で行われた戦争。

三国同盟と三国協定の対立がバルカンの民族運動を巡って表面化する。

オーストリアの対セルビア宣戦布告によって列強が参戦、ヨーロッパを主戦場に長期化・総力戦化した。

大正六年(1917年)四月アメリカも参戦。十月革命で大正七年(1918年)ロシアが脱落、ドイツも革命が起き、大正七年(1918年)十一月に休戦、大正八年(1919年)ベルサイユ条約で正式講和。



## ② 南洋委任統治領

パリ講和会議大正八年（1919年）。日本が国際連盟から委任された赤道以北の南洋群島元ドイツ領が大正九年（1920年）から第二次世界大戦終了まで日本の植民地となった。

## ③ 第二次世界大戦

昭和14年（1939年）年～昭和20年（1945年）、日本・ドイツ・イタリアの枢軸国がイギリス・アメリカ・ソ連中国などの連合軍の間に、行われた世界的規模の戦争。

昭和14年（1939年）九月、ドイツのポーランド侵攻。イギリス・フランスの対ドイツ宣言の開戦。

ドイツはパリを占領するなど優位に立ち、昭和十六年（1941年）には対ソ戦争を開始、また中国戦争を行っていた日本は同年（昭和十六年十二月）

アメリカ・イギリスと開戦（太平洋戦争）西太平洋地域を制圧、戦火は全世界に波及した。

昭和十七年（1942年）以降連合軍はヨーロッパ太平洋に反撃に転じ、ノルマンディー上陸作戦に成功、昭和十八年（1943年）にイタリア、昭和二十年（1945年）五月にはベルリン陥落により、ドイツが降伏、同年（昭和二十年）八月十五日日本も降伏、終戦。

父盛蔵はOSK（大阪商船）の機関長で、当時日本・オーストラリア航路のカンベラ丸（六四七七トン）に乗船していた。戦火が烈しくなり、兵隊を運ぶ輸送船となった。

昭和十七年（1942年）十一月十四日第二次ガダルカナル島への兵員輸送に参加、午後六時頃ラッセル島（所在地不明）北80 kmまで進攻したところ、アメリカ軍機と接触し午後十一時頃38機の攻撃を受け、猛火に包まれ同夜沈没、乗船していた部隊員75名鉄砲隊21名 船員4名死亡。父は顔面に軽症を受けたが、助かり、約一ヵ月後帰国した。





## 入社半世紀の記念旅行

＝同期の桜 東西交流会＝

埴 生 榮 勇

平成20年（2008年）11月28日の午後2時に相前後してJR浜松駅に東西から集まったのは、昭和33年（1958年）4月、当時の日綿実業株式会社大阪本社（岡島美行社長）で入社式を迎えた男性社員約50人中の13人であった。

上りの新幹線で到着したのは、神田久大、菊澤淳、田淵弘通、津田忠佑、廣岡松次郎、松尾哲雄の6人。関東から下ったのが阿賀信夫、岩下恒則、大谷毅丈夫、菊池省三、杉本佳久、長谷川洋と筆者の7人だ。

大阪で社会人生活をスタートした有志が、一堂に会して旧交をあたためようという話の発端は、あるとき松尾君から電送されてきた日綿宝塚独身寮生活時代の一端をうかがわせる数枚のスナップ写真であった。

以前、会社の独身寮は淀と枚方にあったが、われわれが入社した年の初夏に宝塚と大森に、鉄骨鉄筋コンクリート建ての寮が完成した。それを契機に東西の人事交流を促進するとの会社方針に基づき、独身社員を主体とする大規模な異動が始まった。われわれの同期も関東の大学を出た十数人が大阪勤務の辞令を受けたし、関西の大学出身者で東京支社（当時）勤務となった者も多数いた。

松尾君から写真の配信を受けた首都圏在住の数人からは期せずして、「元気なうちに皆に会いたいな」という声が上がリ、声の輪は時とともに力を増しながら広まっていった。松尾君からも東西合同で同期会を開くなら、関西在住の有志を募るとの前向きな反応があり、話はとんとん拍子に進んだ。しかし場所の選定では議論百出した。会社生活の中心地大阪、青春時代の私生活の本拠宝塚を始め、京都、箱根、伊豆、東京等など。70代を迎えている者には人生の思い出の場所が各地にあるのは当然だろう。

かつて、東西社員の交歓の場として、浜松支店

の肝煎りでゴルフなどを楽しんだ方も多いと思うが、誰言うもなく中間地点の浜松でという声が出ると、土地勘の乏しい場所であるにも拘らず意外にすんなりと浜松に決まった。懐かしい友人たちと一晩語り合い、飲み明かすことさえできれば、観光やゴルフは二の次との共通の思いがあったのだろうか。その後は日取りを11月下旬に設定し、宿泊場所、食事内容等詳細は関東側に一任することと、世話人として、大谷、長谷川の両君と筆者の元寮生3人が当たることとなった。

枚方寮、逆瀬川寮を通じて勇名を馳せた菊池君からは、浜松には役所勤めをした友人がいるので、宿泊、観光その他必要な情報を取り寄せるからと、膨大な資料を提供してもらって、会場を遠鉄エンパイアホテルに決定。ホテルとの詳細な打ち合わせは、静岡県出身の長谷川君が引き受けた。大谷君が自発的に現地調査に赴いたのは驚きだった。また、1泊2日の日程を11月28～29日とし、29日は朝食後現地解散に決めて、観光やゴルフはそれぞれ希望者が独自に計画することとした。集団歩行に難色を示す者があるなどのためである。

参加を希望していたにも拘らず、所用や本人または配偶者の身体上の不都合などにより止むを得ず欠席した者も少なからずあったが、本人の体調不良を押してこの旅行には是非参加したいと楽しみにしていた因幡忠顕君が、この日を待たず10月25日、介護を要する病身の夫人を残して74歳で急逝したのは痛恨の極みであった。

さて、当日2時半発の送迎バスに揃って乗り込み、車内で、何年ぶり、何十年ぶりに再会した挨拶を交わし懐旧談に興じながら、3時過ぎにチェックインを済ませた。6時から始まる会食まで、館内にある趣向を凝らした各種の温泉浴を楽しんだり、部屋での歓談に興じたりして各自思い思いの時間を過ごした。ある部屋ではセミプロ級のマジシャン振りを発揮して、「正直で真面目な彼が人を欺いて喜ぶなんて・・・」と、彼を知る人

を驚かせた人もあった。

宴席では各人が、家族や健康状態を含む近況、ニチメン時代のエピソード、海外駐在の思い出、現在の心境などについて披瀝しあった。それらの話は、部屋に戻って開いた二次会にも及び、持ち込んだ焼酎、清酒と乾き物が無くなっても続いた。先輩や後輩を含む恩讐を超えた交わりは、時間に浄化されて掛替えない素晴らしい思い出として各人の心に残っているようだ。よき時代のニチメンのお陰で、初任給13,300円でスタートして、青春を謳歌し、家庭を築き、子供を育て、健康を維持できたことを感謝し、運命を甘受している皆の真実の姿が感じ取られた。

一夜明けた朝食時に、松尾君から「館山寺遊歩道を皆で散策しよう。1時間もあれば十分だし、眺めも素晴らしいから。」との提案がなされた。足腰に自信がないからと尻込みした数人も、彼の熱意とリーダーシップに押されて、やがてその気になり10時過ぎに揃って出発した。実は、松尾君は前日ホテル到着直後から開宴までの2時間以上をかけて、独りで予定コースの实地検分を行い全員で踏破できるコースを吟味してくれていたのだった。お陰でのんびりと山道を歩きながら館山寺(曹洞宗)、穴大師、縁結び地蔵、聖観世音菩薩、愛宕神社、浜名湖畔のサンビーチなどを見物でき

た。

散策後送迎バスの出発時間までまだ2時間以上あるというので、対岸の大草山(標高113㍎)展望台へ行くことに衆議一決し、ロープウェイで723㍎、片道4分間の秋色深まる湖上遊覧を、そして、山頂では浜名湖随一の大パノラマの絶景と紅葉を楽しんだ。その後、温泉街に戻り名産のうなぎに舌鼓を打って記念すべき懇親旅行の成功を祝福した。浜松駅で、次回宝塚での再会を約して東西に別れたときは、勢揃いしてから丸一日が経っていた。

旅行の数日後に松尾君から送られてきたビデオは、動画として非常に貴重でありがたい記録ではあったが、これが自分の有り体かとわが目を疑うほどの老化ぶりは、歩き方や姿勢、緩慢な動作などに如実に表われ、自意識とは月とすっぽんであった。せめて頭脳のほうはこれ程までは老化していないことを願うばかりだ。

顧みれば、入社の前年にソ連が世界初の人工衛星の打ち上げに成功すると、その翌年米国が追随して、「科学の世紀」とも言われた20世紀の科学技術の進展が加速した時代を、人間性豊かに生き抜いたわれわれ同期の仲間であった。後日分かった事だが、館山寺温泉の開湯が昭和33年というのも因縁を感じざるをえない。



33年同期の桜

- ①前列向って左より：阿賀 信夫、大谷毅丈夫、神田 久大、岩下 恒則、津田 忠佑  
 ②2列目(中腰)：菊沢 淳、菊池 省三  
 ③後列左より：長谷川 洋、廣岡松次郎、田淵 弘通、植生 榮勇、杉本 佳久、松尾 哲雄

## “俺らはドラマー”=わが人生の最良の友。=

広 本 昌 也

俺らはドラマー、と云えば、石原裕次郎の“嵐を呼ぶ男”を思い出し、若くて格好いいドラマーとなりますが、私は、古希を迎えた、オヤジバンドのしがないドラマーです。オヤジバンドは、最近、日経新聞主催のコンクールとか、TV番組“渡る世間は鬼ばかり”でも、取り上げられ、永い仕事と家庭から開放され、漸く、自分の好きな趣味に生きがいを見出すアマチュアバンドとして、多少注目を浴びる様になって来たかと思えます。

我が人生に於いて、ドラムとの付き合いは長く、ニチメン時代を含め、色々の経験を与えて呉れました。

私とドラムの出会いは、思い出せば、幼稚園で、主役の大太鼓を叩いた事に始まり、その後、小学校では、特に、4年生から6年生迄、3年間、担任の先生が音楽の先生であった経緯から、国語、算数の授業は、そっちのけで、音楽の授業と色々の楽器の演奏の毎日だった事が、基礎になったと思えます。中学では、当然、ブラスバンド部に入り、トランペットなど、金管楽器に転向しようとしたのですが、ツベルクリン反応で陽転となり、ラッパは、肺に良くないとの親の心配もあり、結局、小太鼓を担当する事となったのが、太鼓たたきのきっかけとなりました。高校時代には、その頃、アメリカでは、既に、Swing Jazzの全盛期で、グレンミラー物語、ベニーグッドマン物語、五つの銅貨などのMusical映画が日本でも上映されるなど、Jazzが流行し始めた頃でしたが、未だ、世間からは、進駐軍のダンス音楽と云う印象で、真面目な音楽として見られない時代にあって、まして高校でJazzをするというのは、不良ではないかと云う時代でした。幸いにも、古都、京都にあって、校長以下、先進的、革新的センスの校風あり、Jazz好きの数学の先生が、思えば、今から50年も前に、他校に先駆け、軽音楽部を立ち上げたお陰で、その初代のドラマーを務めました。更に進んで、大学時代でも、未だ、JAZZ研究部と云う部活は無かったのですが、入学程なく、同好会として発足し、此処でも、初代のドラマーを務める事ができました。しかし乍、その頃は、未だ、ドラムセッ

トなどと云う楽器そのものが、簡単に手に入らない時代で、高校、大学時代共に、限られた、クラブ活動費用では、高価なドラムセットとシンバルを購入出来ず、文化祭や発表会の前に、楽器屋のオヤジに何とか頼み込んで、貸して貰って、文化祭の前夜に、限られた時間内で集中的に練習するといった苦勞の時代でした。

又、JAZZの楽譜もまともに無い時代で、レコードが磨り減るまで、何度も繰り返し聞き、ドラムの叩き方を独学でマスターしようと努力したのですが、よく演奏した曲の中に、人気ドラマー、ジーンクルーパーのSing Sing Sing, アート・ブレイキーのMoaning, ブルーベックカルテットのTake Fiveなどがあります。特に、Take Fiveは、4分の5拍子と云う難しい変拍子の曲ですが、ジョー・モレロのドラムソロが大変有名で、このジョー・モレロとは、後述の通り、それから30年後に、思い掛けない、感激の出会いに恵まれるとは、予想もしていませんでした。

大学4年間、未熟な演奏ながら、活躍出来た事は、学生時代の、楽しい思いだけでなく、色々の意味で、学業とは別の有意義な経験だったと思っています。

その後、ニチメンに入社してから、しばらくは、仕事に追われ、ドラムを叩く機会は、全くなく、窓際族になる迄の約20年間、休止期間となりました。

### 本場アメリカ、Playboy Clubでの貴重なドラム体験

それは、入社、5年目に初めて、アメリカ出張の機会があった時の事です。

ADS (Associate of Diesel Specialist) と云う、ディーゼルエンジン部品業界のConventionが、Kansas Cityで開かれ、ヤンマーの部品の展示場のアテンドで出張しました。1日目が終わり、ヤンマーのUSA代理店の社長、従業員達と二次会に、Playboy Clubに繰り出しました。初めて見



る金髪バニーガールとその大人の社交場の雰囲気、圧倒されたのは、当然ですが、ここでは、Jazzの演奏をするラウンジが3箇所もあり、それぞれ、黒人Jazz menのご機嫌な演奏が行われていました。ヤンマー代理店の社長は、折角、本場アメリカに来たのでから、飛び入りで、舞台にあがってドラムを叩いてはどうかと言い、楽屋に行き、交渉して呉れたのです。バンドマスターは、当然のことですが、得体の知れない、日本人の素人のドラマーを自分達プロの演奏にいきなり参加させる事は、バンドマン組合の規定にも反するので、不可能であると断ったそうです。しかし、延々、1時間の交渉の結果、では、どんな日本人か、一度面接しようと言う事になり、どの様なジャンルのジャズを演奏出来るのか、などの質問があり、カレッジバンドのドラマーだったのなら、良からうと云うことで、特別に演奏を許可してくれたのです。

司会者から、ADS meetingに来た日本人が、飛び入り演奏をしますと紹介され、拍手の中、ドラムセットに座りましたが、一体どうなるのか、少しでも、リズムを狂わせたり、みっともない演奏をすれば、恥ずかしいでは、済まされません。緊張の固まりの中、驚いた事に、曲名も告げられず、(或いは、アガッていて、聞こえなかったのか)、いきなり、曲が始まったのです。必死になって、リズムを拾い、皆に合わせて演奏しました。次第に、緊張が解け、リラックスした気分となり、途中、4バースと云う、4小節単位の即興のドラムソロもこなし、あっと云う間でしたが、何とか、無事演奏を終え、観客の拍手喝采の中、舞台を降りる事ができました。お陰で、翌日、Convention会場の見知らぬ出席者達から、昨夜の演奏を見ていたよと、声を掛けられ、展示場でも、大いに話に花が咲きました。この経験は、正に、Playboy Clubと云う、夜の社交場として、Jazzを演奏するには、最高の檜舞台で、初めてのアメリカ出張で、貴重な経験が出来た事、大変、栄誉な事であり、一生の思い出となって居ます。

#### 更に、貴重な経験

これは、矢張りUSA出張時の貴重な経験です。1994年7月にNew Yorkを訪問し、その日の日程を終わり、ベッドに入ろうと何げなく見た、ガイドブックに、先に、述べました、今や、ドラムの

神様の存在の、ジョー・モレロが、マンハッタンの3rd Avenueにある、有名なFat Tuesdayで演奏している事を知り、慌てて、着替えてタクシーを飛ばして、Fat Tuesdayに駆けつけました。丁度、最初のステージが終わり、ジョー・モレロは、観客席で、休憩していましたので、これ幸いと、横に行き、ジョー・モレロさんですか？と切り出したところ、彼は、一瞬驚きながらも、横に座るように、暖かく歓迎して呉れたのです。彼は、若い頃に目を患い、殆ど、目が見えない状況ですが、会った瞬間から、大層心の温かい人だと、その人柄がひしひし伝わって来ました。

早速、学生時代からの大ファンである事、彼の最近のCD、教則本、教則ビデオは、全部持っている事などを伝えると、大変歓ばれ、会話は大いに弾んで、サンドイッチまで、頼んで呉れ、一緒に食べつつ、話が盛り上がったのです。そこで、第二ステージとなり、ところで、お土産に、自分のスティック…太鼓の撥(ばち)をあげたいが、新品が良いか、其れとも、今夜使用した撥が良いか、どちらが欲しいかの事、これには、全く、信じられない、嬉しい感激です。当然、今夜演奏に使ったのが欲しいと言うと、OK、解った、今から、例のTake Fiveを演奏するので、そのスティックを上げましょうとの事。



目が悪い為、一人でドラムセットに座る事が出来ませんので、私が、エスコートして、ステージに上がって頂くと云う、光栄にも浴することが出来ました。

その後、全てのステージが終り、観客も帰ったところで、思いがけず、私に、ドラムを叩いてみてはどうかとの事、厚かましくも、この千載一遇のチャンスを逃す事なく、彼のドラムセットに座り、挑戦した結果、ドラムの神様の評価は、“Pretty Good”との評価で、本当は、相当ひどかったのですが、マーマーだねと云って呉れ、スティックの握り方も、少し直した方が良い、小指をスティックにこの様に添えれば、今後共、改善されるだろうとの、貴重なアドバイスを、頂戴したのです。

学生時代、夢に迄見た、ジョー・モレロのTake Fiveの演奏をナマで聴くことが出来、直接、話も出来、サインも貰って、しかも、その夜、使用したスティックまで貰い、叩き方の指導も受けたのですから、大変な感激です。

この経験は、私としては、ゴルフ好きの人の場合に例えると、ジャック・ニクラウスが主要トーナメントに出場し、その後で、その日、使用したパターを貰い、グリップの握り方の伝授まで受け、クラブサンドイッチと一緒に食べながら、親しく写真を撮った、と云う経験と同じ位の感激なのです。

帰国後、写真を添えて、丁寧な、礼状を出した事は申すまでも有りません。

実は、まだ、この後の感激があります。

上記の感激の夜から、4年半も経った1999年3月、一通の横文字の手紙が届きました。見ると、何と、ジョー・モレロ・プロダクションとなっています。慌てて、開けて見ると、

それは、当方から4年半前に礼状と共に送った写真に対する、ジョー・モレロ本人からの礼状でした。文面は、自分は、世界中の沢山のファンからの手紙を貰っており、返事が遅くなって申し訳ないとの事。普通なら、4年半も経ておれば、礼状を書くタイミングを失したと考えて、其の儘、諦めてしまうと思うのですが、一度会っただけの俄かファンに対し、几帳面に返事を呉れたのです。しかも、その礼状の内容は、4年半も経っている

にもかかわらず、あたかも、昨日の事のような生き生きとした、描写になって居り、あの夜の事は、良く覚えている、日本にも、行って見たいなどと書かれていました。これには、再び感激して、直ぐに、礼状の礼状に対する再礼状を書いて送ったのでした。

ジョー・モレロは、今81才ですが、JAZZ界を代表する、偉大なドラマーとして、活躍中で、人々を惹きつける素晴らしい演奏のみならず、心温まるミュージシャンとして、世界中のファンから、愛され続けています。

記念に貰ったスティックと手紙は当家の宝物として、大切に保管しています。

## 近況

ニューヨークとシカゴの2度の駐在期間中、折角アメリカと云う本場のJAZZ環境にありながら、ドラムのレッスンを受けることも、演奏することも無かったのですが、ニチメン原動機販売に席を移した頃、学生時代のバンド仲間から誘われ、20年振りに、ドラムを叩く機会がありました。それ以来、再出発のリハビリ練習を重ね、今、2つのアマチュアバンドで、月2回のLive演奏に参加しています。この内、一つの方のバンドをご紹介しますと、バンドの名前は、“ツチケンバンド”と呼びます。バンドリーダーが、御茶ノ水女子大、哲学科教授の土屋賢二氏で、同氏は、週刊文春のコラムで、“ツチヤの口車”を毎週執筆している事もあり、そのファンが、御茶ノ水関係の女学生、卒業生を初め、一般OL、TVでお馴染みの弁護士先生、落語の師匠など、高校生から、70歳近くの女性まで幅広く聴きに來ます。バンドの編成は、ピアノ、テナーサックス、ベースと私の4人のカルテットに女性Vocalの5人編成です。メンバー全員、平日は、本業の仕事を持つ、

教授、国際弁護士、証券アナリスト等の勤め人で、私も目下のところ、英米外資系のエンジン部品メーカーの、謂わゆる、日本側駐在代表の仕事を持っており、その合間をぬって、日夜練習に励んでおります。と云うのは、私以外は、それぞれ、プロのミュージシャンとしても活躍できる実力の持ち主で、それだけに、彼等の足を引っ張らない様に、練習を重ね、向上を目指す必要があります。ドラムと云う楽器は、こう見えても、



大変奥が深く、一にも二にも練習、三に練習、四にも練習で、永遠に練習です。練習を3日怠れば、自分に自信がなくなり、5日怠ると、バンドのメンバーにバレ、一週間怠れば、お客さんにバレてしまう、と云う楽器です。従って、余程、好きでなければ、続きませんが、今は、週日の仕事の憂さ晴らしをドラムにぶつけて、週末の練習とライブで、大いに発散しています。

私達バンドの演奏するジャンルはと言いますと、俗に言う、Modern Jazzです。Modern Jazzと言っても、あらゆる分野が含まれて居ますが、簡単に言うと、一般に知られる演奏家と言えば、チャーリー・パーカー、マイルス・デビス、ソニー・ロリンズ、ジョン・コルトレーン、ビル・エバンス、スタン・ゲッツなどの分野です。

### 良くある御質問

此处で、良くある質問に、お答えしたいと思います。

#### 1. ドラムは両手、両足、それぞれ、同時に、バラバラの動作が必要だが、どうして、それが出来るのか？

これは、ピアノでも右手と左手では、別々の旋律を弾きますし、チンドン屋でも、チンチキとドンドン、上手く両手をコントロールするのと同じ事です。要は、練習あるのみ、最初から、簡単に出来る訳ではありません。絶えず、意識しながら、練習を繰り返し、バラバラの動きが自然な動作として、出てくるまで、練習を行います。この意味で、年寄りには、その習得が遅く、若い人には、かないません。悲しいかな、今でも、通勤電車の中で、周りの迷惑にならない様、両足をバタバタさせて、速く、正確なリズムになる様、足の練習を心がけています。

#### 2. ドラムにも、楽譜があるのか？

一応、曲の構成を知る為にその旋律用の楽譜を渡される事はありますが、ドラム部分の楽譜は、無いといった方が、正しいかと思えます。

飽くまで、JAZZは、即興が基本ですので、相手の演奏するメロディーとリズムに合わせて、その瞬間、瞬間の感覚で対応します。それだけに、相手のアドリブ演奏と旨く、呼応出来た時には、JAZZの醍醐味を満足出来ます。私の様に、楽譜

が読めない者にとっては、有難い楽器です。

尚、ドラムの教則本には、独特の音符表示がありますが、これは、未だ、国際的に決まった記号ではなく、人によって、表示が異なります。

#### 3. バンドをやっていると、小遣い稼ぎになるのか。

アマチュアですから、ギャラはありません。むしろ、出費ばかりです。演奏の合間の休憩時や、終了後の飲み食い代が必要です。偶に、夏祭りの催しに呼ばれたり、結婚式の余興で、呼ばれることはありますが、飽くまで、車代の金一封なので、大抵、足が出てしまいます。プロとアマチュアの差、実力の壁は、相当に高いものがあり、容易に、金稼ぎの域には到達せず、道楽の域を出ないのが、実情です。しかし、逆に、我々アマチュアは、ギャラとか、客の要求に縛られる事なく、自由に、自分の好きな曲目を演奏出来る、楽しみがあるとも言えます。

冒頭にも、書きました通り、古希を迎えて、ドラムなど叩かず、年齢を考えて、静かに、優雅に、絵筆でも採って、上品な老後を過ごせばどうかと言われる事もありますが、JAZZ演奏の楽しみは、一旦、はまると、麻薬以上に、抜け切れないと言われるます。ドラムは絶えず、左手の技を磨く必要があり、その意味では右脳のボケ防止に役立つのではないかと、手足の動く限り、叩き続けて行きたいと願う、俺らはドラマーです。以上



“♪俺らはドラマー♪” (筆者)。

## 書評

## 『脳はもっとあそんでくれる』 茂木健一郎 著 (中公新書)

渋谷 義

著者は、脳科学者として著名。物質である脳に心がいかに宿るのかという『心の問題』がライフワークという。「脳を活かす勉強法」(PHP)は、受験生に人気である。

文藝春秋2月号'09の著名人30人の「わが人生最良の瞬間(とき)」で、著者は電車に乗っていた時に「ライフワークのクオリア(感覚質)の問題に覚醒した瞬間」を上げている。やっと、自然科学と人文科学を結びつける思想的武器を手にしたという。

音楽プロデューサーの武部聡志さんの自分の個性を伸ばす歌い方を紹介している。機械に合わせるカラオケは限界があり、ユニークな個性を伸ばしてくれる伴奏者のプロデュース、即ち育むことが肝要という。カラオケは、歌う人の声に合う音程などを調整できるが、プロ並みの歌い方のレッスンはカラオケでは無理か？

インターネット上の情報も時代を映すが、本の中の情報や重みはやはり違う。100年 200年後にも読まれる後世への遺言が本にはある。科学者に限らず、学者は本来、変人が多い。著者も変人のイメージに惹かれて科学者になったという。

数多くの情報が行き交う現代社会の中で、自分自身の生きるバランスを失わないことの大切さを思う時、夏目漱石の『それから』に描かれた主人公・大助の世間に対する態度を著者は思い出すという。大助は30歳そこそこで、ニル・アドミラルの域に達していた。

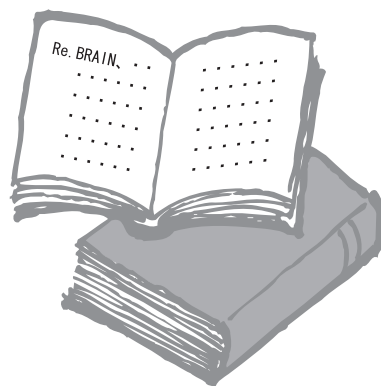
ニル・アドミラルとは、ラテン語で何事に対しても驚かないという意味である。「それからどうした？」と問い続ける。そのようにして、自らの生命の全体性のバランスを決して失わないことが、結局は長い目で見て自由と幸福を深化させることにつながる。「インターネット、それがどうした？」と自問する。便利になってかえって失われ

たものはないか？

日本人には独創性がないと言われることもあるが、事実は異なる。もっと誇りを持ってよい。「万葉集」から「トヨタ生産方式」までこの国には「ひらめきは皆のものである」という思想が、一貫して流れている。

音を聞くことがキッカケになって悟りを開く有名な話が、仏道にある。香巖智閑(きょうげんちかん)という坊さんが、ある時、庭で掃除をしていて、掃いた小石が近くの竹に当り、音を立てた。「撃竹の大悟」として知られている。聴覚を処理する部分は、様々な記憶を収納する「側頭連合野」に近い。音を聞くことで様々な記憶が参照され、結びつけられるキッカケになるのである。脳科学は日進月歩であり、研究分野も多岐にわたる。脳という、人類がかって研究対象にしたもののうちで、もっとも複雑で巨大なシステム。心を生み出し、創造性を発揮し、たくみにコミュニケーションする。その驚くべき機能が生み出されるメカニズムを理解しようと数多くの研究者が解明に取り組んできた。とはいえ、専門家でさえ、全体像を見渡すのは難しい。

以上、本書のあらまし、いや一部を記してみた。少し難しい脳科学者の話であるが、内外の事件や自分自身や身の回りの出来事に対する心構え・考え方の参考にしたいと思った。



## 書評

## 『榊原式 スピード思考力』 榊原 英資 著 (幻冬舎)

渋谷 義

『新刊、ベストセラー!! 疑う人になれ! スピードある君子は豹変する。朝令暮改できる人が、激変する環境で生き残る!』こんな広告に魅かれて購読。

自分の頭で考える50の方法がわかり易く解説されている。214頁あるが、重要な点は赤字で書かれているので、そこだけ読むだけでもポイントは理解できる。著者は大蔵省(現財務省)の国際金融局長の時、ミスター円として活躍。内外に著名であった。以下、要点と、なる程と思ったことをまとめてみたい。

知的謙虚さをもつ。知らなさを気づくことこそ、とても重要なことである。知ったかぶりは大罪と心得る。わからないことは聞いてみる。それも徹底的に!! わからないことは調べよう。実際にはすべての問題について、あらゆる議論があり、あらゆる意見がある。自分の頭で考えて、自分の意見を導き出すことが肝要。

本当に能力のある人は、やはり進んで少数派になることができる。成功体験があったために、かえって没落していく企業もある。ディベートの訓練をしよう!! 日本人の和とかなあなあの文化を超えて、いかに納得できる論拠をもって人を動かすことができるかという、考える力を養おう。

実用的な英語は、英語のまま理解できるようになることである。違うことが起こったときに、それに対応して自分の意見を変えられる頭のやわらかさをもつ人が生き残れる!!

仕事のできる人には、イヤな奴と思われている人間が少ない。著者も人をクールに見る。仕事において100%人を信じることは避けてきたという。

相手が自分を批判しても、平気で楽しく受け止める。人を説得するためには、どうしても論理的だけでなく感性的なものも必要である。一日の終

わりに日記なりノートなりというものを書く。週末に整理することでもよい。歴史を学ぶことにも挑戦してほしい。

半分眠っていて、半分起きているような時に、一番創造力が働く。為替レートが変動するときには、いろいろなサインが出ている。蓄積された経験に結びつくと、勘で「潮の流れがそろそろ変わるな」という直感をうながすことになる。

異分野に興味をもとう。食文化を勉強していけば各国の文化がわかる。世の中はわからないから面白い。知識があればあるほどよい。学力低下が著しいのは九九ですら暗記しない子が増えてきたから。年齢に関係なくいつでも暗記しよう。記憶力が落ちるより「覚えよう」という努力が不足している。反復して覚えようと努めれば、年齢的な記憶力の低下をカバーできると私も思う。ボケ防止にもなると思う。暗記と復習で脳を活性化しよう。世界史を知ると視野が広がる。

運動でも脳は活性化する。有酸素運動で、脳細胞が活発になる。継続こそが力になる。一度決意したことが長続きしないのは、ムリなスケジュールのためである。無理は禁物。マナーな習慣が集中力を妨げ、かえって効率を悪くする。休む時間の充実も大切。失敗を恐れない。失敗が進歩の源泉である。

毎日自分でプランをつくろう。実行できる目標を選ぶ。テレビは原則観ない。観たいものを決める。著者もNHKのニュースを観るだけという。会議はできるだけ短くする。「読むこと」と「書くこと」は考える力の土台になる。思考を発展、整理できる。頭の固い人は避けてよい。私も実感している、歴史的には柔軟な発想力のある日本であるが、頭の固い国になり下がってしまった日本である!!



## BATA——靴に見るグローバル経営

浜 地 道 雄

ナイアガラの滝はアメリカ側とカナダ側に分かれる。蹄鉄 (Shoe) 形のカナダ側のほうが雄大だが、そこに渡るにはパスポートが必要で「国境」を実感する。交通標識が (アメリカの) Mile表示から突然km表示になったことをなつかしく思い出す。そこからケベック州につながる800kmのHeritage Highway (歴史街道) の美しいMapleの紅葉の中を少し行くとトロント市だ。そこで「BATA」とある近代建築を見つけて驚いた。インド・東南アジアで見かける靴 (Shoe, Footwear) の店である。それがここまで進出しているのか？

尋ねると何と逆にここがWorld Head Quarterとのこと (当時。現在はスイスのLausanne)。そのBATA靴博物館には世界の靴1万点が展示されている。

BATAとは1894年、オーストリア・ハンガリア帝国 (現在のチェコ共和国) のZlinでcobblers (靴職人) だったThomas Bataが設立した製靴工場である。なぜか日本ではお目にかからないが、現在世界50カ国に4万人の従業員と店舗5000店を有している。25カ国に40の生産拠点をもち、1日百万人に販売するという同族非公開のグローバル企業だ。

1919年の訪米時に、創業者はフォードの大量生産方式に感銘を受け工場近代化を図った。

その後1929年までに、スイス、ドイツ、英国、フランス、ユーゴ、ポーランド、オランダ、米国そしてインドに生産拠点を広げた。

第二次大戦中はドイツNAZIを逃れて海外に拡散、加えて1948年チェコスロバキア政府により国営化されたことから、結局1960年代にトロントに世界本拠地という。「家族経営」を念頭に置いたBata氏は、トロント本社に「BATAWA」と名づけたコミュニティを開設した。地名ともなったBATAWAには、工場、病院、学校、住宅などを建設し、まさにBata-Villageともいうべき存在に

なっている。

このグローバル企業史への興味は尽きないが、生活必需品Shoeという言葉にも企業人に参考になる表現がある。If the shoe fits, wear it. (一批判などが—自分に当てはまるとするならば、それを受け入れよ) とかin someone's shoes (その人の身になる) は有名な格言だ。優秀な前任者から引き継ぐとなかなか重荷だget some big shoes to fill. その苦勞 (靴がきつくて痛い場所) は本人にしか分からないOnly the wearer knows where the shoe pinches. でも、Put on your dancing shoes. といえれば何か良いことが起きそう。



Shoeは「対」ゆえ、A pair of shoes, the shoes are mineと複数の形をとる。日本語化したスリッパも同様で、Slipperでは「片方のスリッパ」となる。因みにシンデレラの「ガラスの靴」はGlass Slipper。関連で言えばAthlete's Footというのはアメリカのスポーツ靴店の名前だが、水虫のことでもありおかしい。

極めつけは、ある未開国に派遣された2人の靴販売員のビジネス逸話である (BATA社のことかもしれない)。両人とも現地地の状況について “No one wears shoes.” と電報で本社に報告した。そして1人は “So, no sales here.” と結論づけた。もう1人は興奮気味にこう結んだ：

“So, huge market. Everyone needs shoes.”

さて、あなたならどちらを結論とされるだろうか？

(社) 日本在外企業協会「グローバル経営」より転載、加筆。

「写真・絵」(添付=著作権クリア)

## 世界を変えるTicket

浜 地 道 雄

英語を楽にマスターする方法などないが、楽しく学ぶ方法はある。一番は何といっても映画、ことにミュージカルは楽しい。それも古いほうが分かりやすい。

その代表のひとつは『踊る大紐育On the Town (1949)』。24時間の休暇をもらった3人の水兵がマンハッタン見物をするというストーリーである。「ニューヨーク、ニューヨーク」の楽しい歌とともに映画でマンハッタンめぐりができる。そのひとり（ジーン・ケリー）がポスターで見た「今月のミス地下鉄」に一目ぼれして、彼女を探しまわる。そのポスターには「Miss Turnstile」とある。Stileとは動物は通れないが人間は通れる踏み段で、そこから「回転式（turn）検札機」のことを言う。あらかじめ購入したToken（コイン）を入れると、腕木が回転して通過できる。ニューヨークの地下鉄開業は1904年だが、このミュージカルの49年当時にはあったということが分かる。

日本では切符（Ticket）に、改札員がハサミをパチパチしながらまるで神業のようにパンチを入れるのに感心したのはそう遠い昔ではない。欧州などの国によっては、地下鉄・電車では信頼とコストの兼ね合いで改札はない。ただし、時に車内検札があり、不正をやると高額罰金を取られる。

ものの本によるとマンハッタン地下鉄においても当初は人による改札制度だったのが、係員の不正があったので自動にしたというからこのあたり根は深い。つまり「（金銭について）性悪説」の根があるように思える。たとえば、買い物や銀行窓口など日本の日常生活では万札が普通に使われるが、米国では違う。20\$札が最高額で100\$札はあまり使われず、出すと驚かれる。「信頼の社会性」も問題なのだ。

切符とはすなわちTicketだが、その省略形Tickは「つけ（掛け売り）」の意味。これも米国では多くない。Ticketはだいたい良い意味で比喩的に使われ、That's the ticket! というのは「まさにズバリ、お誂え向き」という表現だ。Write one's own ticket. といえは自分で将来の計画・方針を

立てるという意味である。ただし、交通違反で切られるTicketは恐ろしい。

マンハッタンの地下鉄のTokenも今や電子化してスライド式のカードとなっているし、インターネットの時代、飛行機の切符も今やE-ticketとなった。E-ticketを発音するとエチケットというのはダジャレに近いが、実は興味深い話もある。Ticketは元々はフランス語の「札・張り紙」でetiquette（エティクテ）からきている。ベルサイユ宮殿で礼儀作法やマナーを札で指示したということらしい。

Ticketはまた4年に一度、世界の政治・経済に大きな影響を与える。米大統領選挙の仕組みはなかなか複雑で、民主党、共和党はそれぞれの大会で「候補者」を選出する。ここで重要なのは投票の対象が大統領候補と副大統領候補の「対」で、（pairとかcoupleとは言わず）TeamまたはTicketと称され、その組み合わせがよいとDream Ticketと呼ばれる。Donkeyに象徴される民主党は「オバマ上院議員（47）とバイデン上院議員（65）」。Elephantに象徴される共和党は「マケイン上院議員（72）とペイリン・アラスカ州知事（44）」。結局11月4日（火）の本選挙で民主党のTicketが勝利し、翌1月20日、初のアフリカ系大統領が誕生した。さあ、世界がどう変わっていくか？



（社）日本在外企業協会「グローバル経営」より転載、加筆。

「写真・絵」（添付＝著作権クリア）



## 想定外の出来事

### ＝インド今昔物語：インディラ・ガンディ首相と握手＝

川 西 勲

筆者は、1961年入社、輸出機械部（大阪本社）に配属、65年から2年半インド・ニューデリー店勤務、70年から8年間カナダ・モントリオール店、79年から6年間クウェート店、87年から2年間フィジー（マナ島リゾートホテル）に勤務、通算19年間海外生活を経験した。なかでも最初に赴任したインドについては数々の思い出、エピソードがあるが紙面の都合でインドに焦点を当てここに2編を紹介する。

#### ◇想定外の出来事

ニュースとしては最早旧聞になるが、双日も巻き込まれたいわゆる工業用の米波紋の問題。世界貿易機構WTOの義務輸入量の基準により、日本政府は中国とベトナムなどから米を輸入していた。この米からカビや基準値を超える残留農薬が検出されると、日本政府は事故米（汚染米）として糊を作る工業用途を限定して、安い値段でこの米を業者に売っていた。米を買った“三笠フーズ”社はこの米をいくつもの業者の段階と経路を利用して食用に化粧して流通していた。食用に化粧した工業用の米は病院と老人療養所、学校の給食用として供給され、焼酎やお菓子の原材料としても使われた。問題の米に対する政府の管理監督がめちゃくちゃだったという事実、政治資金提供のうわさ話等々問題が広がり、当の主務官庁の農林水産省の責任問題、国民の不満の声等続出。しかし事件はいつの間にか世間の耳目から過ぎ去っている。そもそもは、当初から扱い品が事故米とはっきりして農林水産省の指定業者である一次業者にとっては用途が工業用と限定して扱ったこと、まさか食するものに流れるということは疑わずに農林水産省推奨の中間業者に卸したにすぎない。工業用から食用へのすり替えはまさに想定外の出来事。

これもおなじみの中国産毒入り餃子の事件。またまた双日が絡んで胸を痛めた事件であった。

食材の野菜、肉類に残留農薬、残留抗生物質があることは想定され、厳しい工程管理・検査で基

準をパスしている。ここまでは想定内である。製品に“まさか”、“まさか”致死量に至る毒が塗られたり注入されたりすることまったくの想定外であった。

実は、私が最初に駐在したインド赴任も切っ掛けはささいな想定外の出来事であった。

話は1965年まで遡る。65年から68年、倉又則夫さんの後任としてニューデリーに在勤していたときのことである。ときの首席駐在員（所長）は野村バラサブでした。野村喜久雄さんがご帰国後は故・小川一郎さんが所長で着任。ニューデリーではお二方にお仕えした。

さて、当時出身部の大阪輸出機械部産業機械課の主力扱い商品はヤンマー船用エンジン、同部品であり、円クレスキームのお陰でインド向けに船用エンジン以外にヤンマーディーゼルエンジン搭載の耕耘機がデリー店の大型高い品目として軌道に乗りかかったときであった。私の当初の任務は、長期出張員として第四次円クレで商内の実現を見た耕耘機の第五次円クレ以降のリピート契約獲得に向けて、インド各州の需要喚起のためヤンマー技術者が各地で執り行う実演の現地アテンドであった。着任後、三カ月が過ぎ、足腰が地面に定着したころ野村バラサブから長期出張から駐在員への切り替えのお話があり、私も切望してお受けし、かくして倉又さんの後任として以後2年数カ月を勤めることになった次第。

当時ヤンマー商内で、インド・パキスタン方面へはヤンマーから二名の技術者が派遣されていた。一人は船用担当で温厚なプロ日綿のA氏と、もう一人耕耘機担当の若い仕事熱心のO氏であった。問題は、O氏が当時ヤンマーの営業を総括していた天皇と称せられたY常務と直結していて、O氏のレポートはヤンマー貿易部を素通りしてY常務に直接送られていた。業務上の問題で、内容が担当のヤンマー貿易部でよく咀嚼されないまま、Y天皇から直接、日綿のヤンマー関係トップ（満

啓二さん)に伝えられると、満島さんも内容精査せず産機課に下ろしてくる。「産機課、何をしてるか」とケツを叩かれ、産機課もヤンマー貿易部に相談するも、お互いに問題の論点分らず困り果てたということもあったとか。げに恐ろしきはOレポートなり。

その渦中に二つの問題点；一つは、船積みされた耕耘機がインド各地の港に到着し、各州の農業部管轄の現場に配送されつつあり、耕耘機取り扱いの初期指導、アフターサービスと次期円クレの耕耘機商内獲得のため各州の農業部にデモンストレーションを展開するため、ヤンマーから数人の技術者が派遣される。これら技術者に対するアテンド専任の担当者を日綿から現地に速やかに長期出張せしめよ、ということと、他方は技術的なささいな問題、しかしディーゼルエンジンにとって致命的な問題が発生していた。Oレポートによると、耕耘機に搭載のエンジン上部に付いているホッパーが毀損している。毀損の原因が材質にあるのか、輸送上の事故か特定できない。しかし水冷のエンジンでホッパー自身はささいなものでもホッパーがなければエンジンが使い物にならない。工場でチェックしたが、材質、形状、構造上なんら問題ないはず。梱包もホッパーの周りを段ボールで保護し、輸送中少々のおぼれでも壊れないように工夫した。しかしなぜ現地で毀損したのか原因不明。O氏だけでは手が回らぬため急遽ヤンマーから貿易部の若手S氏が応援出張することになった。そのとき、私は加藤信一郎副部長(当時)に呼ばれ、「コレラの予防注射が有効になり次第、即インドに飛べ。そしてO氏、S氏をアテンドせ

よ。期間は1カ月から3カ月くらいの長期出張だ。」との仰せであった。(中略)

1966年1月初め、ニューデリー事務所にパンジャブ州・ジュルンダー市(パキスタンとの国境に近い)の農業事務所から耕耘機が24台到着、開梱せずに待っているからヤンマーの技術者を寄越せ、との連絡あり、O氏はUP州から直接現地入り、私とS氏はニューデリーからバスで現地に出向いた。(バスは超満員、かつ屋根にも窓にも、後部にも人がぶら下がり7時間もかかった前代未聞の旅行。エピソードあるが省略)。

夜、ジュルンダーの政府ゲストハウスに到着。噂のO氏と初対面。同氏についてはいろいろ思い出深いエピソードあるが省略。

翌朝、農業事務所のジープで現場に行く。空き地に24箱の梱包が林立していた。驚愕!

耕耘機は組み上がった状態で梱包され、水田用大車輪を二個、ロータリータイン、ハロー、プラオを同梱するため横長で長手方向約3.5メートル、奥行き2メートル、高さ2メートルの木箱となる。これが縦長に置かれて林立していた。地面に着いている方向が前部、後部おかまいなし。さらに仰天したのは裸足の労務者が5、6人箱の上部にロープを巻き、皆が一斉に引っ張って地面にドスンと横倒しにして横長に据えていることだ。天地マークまったくお構いなし。起重機、マテハン機器が何もないので人力で倒す以外に方法がないこと自明。倒立もあったので開梱したら案の定ホッパーがつぶれていた。



イラスト；ガンジス川

早速、S氏が本社にLT電（なつかしい言葉です）で報告した。梱包の荷姿は絶対に横長でなければならない。工場から現場まで縦長に積まれたり、置かれたりは、だれも想像だにしない。まして天地マークを無視して倒置されること、あってはならない、と信じていた。まったく想定外の出来事であった。

後日談：66年夏、O氏が帰国され、代わりに耕耘機の出荷元であるヤンマー協力工場の竹下鉄工からH氏、I氏、NH氏、NK氏が来印され一年以上滞在し、各地に実演等展開した（活動状況は省略）。彼らから聴取したことだが、S氏から天地倒立の報告をもらってヤンマー貿易部も、工場側も言葉にならないほど驚いた由。工場では早速梱包後の木箱を2メートルの高さからあらゆる角度で地面に落とし、中身が損傷しない梱包に改善して次回の船積みへ備えたとのこと。事実ホッパー事故はその後発生していない。

耕耘機実演では現場で幾度となく立ち会って感じたことがある。ヤンマー水冷ディーゼルエンジン搭載の大型耕耘機はカタログ以上の含み馬力をもっていて、インドのような乾期の固い地面を掘り起こすには自信を持って実演できたことである。

日本の競合メーカーS造機の耕耘機と現地で競演したとき、ヤンマーは、粘土質のひからびた固い地面をロータリータインで着実に7インチとか9インチとか農業事務所の係官が求める深さで掘り起こしていく。一方、S造機は回転数の早い、重量の軽いケロシンエンジン搭載の耕耘機であったので、地面をひっかくようにただ走るだけで畑を耕せない。S造機の技術者は、「自機はインドに向かない。本社に進言してインドから退く」と、あっさり負けを認めていた。競争相手ながら技術者の胸中が痛いほど察せられた。パフォーマンスが歴然としているのでヤンマー技術者は意気揚々としていた。このときほど、私自身もアテンドする立場ではあるが、胸張って勧められるいい製品に巡り会えたことをラッキーと有り難く思った次第である。

#### ◇インディラ・ガンジーと握手をしたこと

インド人が尊大に構えたり、他愛のないことでこちらの立場が不利になったとき、こちらが相手

より少し偉い人と知り合いであるとか、口を聞いたことがある話をすると、とたんに立場が逆転することを経験的に知っていたので、インド人をギャフンとさせるときの隠れ武器として実戦ではほとんど使ったことはなかったが心得ていた。

1987年から89年、フィジーに在勤したとき、フィジーの人口の半数がインド系の子孫で、あるときインド系のある家族の婚礼の宴に招かれたとき、話のはずみで自分もインドにしばし住んだことがあると言って、「インディラ・ガンジーと握手をしたことがある」と口走ったとたん、相手の態度が改まり、えらく鄭重にもてなされたことがあった。隠れ武器の弾薬は湿っていなかった。

ガンジー云々の話は、ニチメンの同僚やほか日本人に話したことはないの、披露するのは本稿が初めてである。話を1966年に戻す。

東京輸出機械部が、石播の四輪駆動農業用小型トラクターをインドに売り込みたいと見本機を一台ニューデリー店に送り込んできた。ラジャスタン州ジャイプールの農業見本市にヤンマーの耕耘機と一緒に展示し、空き地で実演などして宣伝に努めた。反響はあったが、結論から言って、インドの極端な外貨不足の事情、末端価格（末端層が購入するにはとてつもない金額になる）、国策の国産化率80%以上等を考慮すると、耕耘機でさえもインドでの継続商いはまず難しい状況にあったので、まして金額の張る四輪はなおのこと見込み薄であった。しかし日本は外貨獲得に輸出ドライブを盛んにかけていたときで、内地も必死に売り込みに取り組んでいた。通常では輸入できない四輪トラクターを見本機として実演終了後内地へ送り返す条件で仮輸入して、関税も100%仮払いしていたので6カ月の仮輸入期間が過ぎたら内地へ送り返す算段をしていた。内地側は送り返されても困るし、返送費用・手間が大変だ。見本機はタダでよいかからインド側で適宜処分してくれとのことだった。公的機関に寄贈すれば関税は免租され、輸入できると聞いたのでしかるべき先を検討していた。

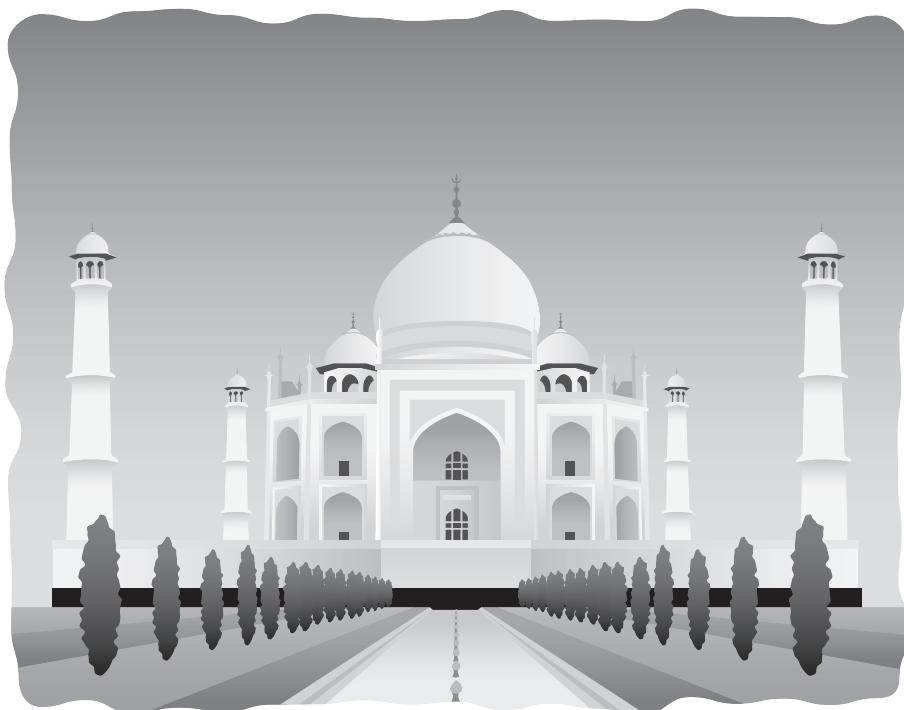
たまたま筆者が各州の農業組合の上部団体であるインド農業組合連合会の総裁の個人秘書という人物D氏（知り合う契機からその後のお付き合い

まで数々エピソードあるが省略)と知り合いであった。D氏の仲介で総裁とも二、三回会っていた。この連合会に寄贈することで話がついた後、D氏から、川西サブにはいろいろ世話になったので総裁がインディラ・ガンジー首相に会わせてあげると言っている。会の事務所にすぐ来られたい、と言ってきた。時のインド政府の最高権力者ガンジー首相と会っても何を話すのか、途方もないことであった。

とにかく連合会の事務所に駆けつけると、D氏は筆者を門から事務所玄関口に至る長い路の途中にある立ち木の傍らに立たせて、首相を呼んでくるから待っていると建物に入っていた。待つこと久し。小一時間ほどたってから総裁の先導でガンジー首相とお付きの者が玄関から出てきた。門の車寄せに向かおうとしていた時、件のD氏がちょこまかと総裁のそばで何かささやいている。総裁が私を指さしてガンジーさんに何か言っている。筆者の前を通りすぎりに一行が立ち止まってガン

ジーさんが手をさしのべた。こちらも恭しく握手した。瞬間のことで何を言われたのか、申し上げたのか覚えてないが、あっという間の事であった。

後日談：D氏の解説では、インディラ・ガンジーはU P州が選挙地盤で、総裁はU P出身だが政治には興味なく、学術的なお人であった。ガンジーさんが総裁に選挙の後押しを頼みに来たのではない。総裁は農業の機械化を持論にしているのがガンジーさんにその辺のところを講義したのでは、との話であった。たまたま日綿経由で石播のトラクター献上の話があったので、自分は総裁にそのことをガンジーさんに言上するよう耳打ちしたとのこと。ガンジーさんとの握手は格別の意味はなかったし、単なるハプニングであった。D氏がガンジー首相の来会を奇貨として筆者にインド流の感謝のお返しをしたのではないかとと思っている。今でも人に話すほどの意味合いはないが、インド駐在の思い出の一コマとして胸に納めていたものを敢えてここに披露するものです。(完)



イラスト；タージマハル、TAJ MAHAL、Agra, India、  
1632～1654年、ムガル帝国第五代皇帝  
シャー・ジャハンが建造した墓廟



## ハワイアン音楽にハマってます。

本 田 務

ニチメンでの勤めを終えて、個人事業（コンサルティング）を始め、漸く軌道に乗った頃であったので、今から8年ぐらい前であったと記憶する。

ゴルフ仲間と海外遠征の後、成田から帰宅途次の乗用車の中で、一人が「自分が参加しているウクレレ教室の発表会のテープがあるので、聴いてよ」と言って、録音した音楽を流した。全く素人の集まりと聞いていたので、大したことはないのではと思っていたが、これが仲々のハーモニー。

私も大学時代にアマ・バンド活動をしたこともあったので、身体の中で眠っていた音楽の虫がむくむくと頭をもたげた。

丁度、会社一個人と仕事中心の生活をいつまでも続けていて良いのだろうか、思案していた時期であったので、早速友人の紹介を受けてその教室の一員となった。

20人位の教室で、毎週一回3時間練習して、年1・2回発表会を行っている。

私の担当は昔取った杵柄のギター。このグループにはスチールギターを弾く人がいるので、初めはリズムだけを担当していたが、多くの曲をスチールだけでは変化がないので、私がギターで一部分のメロディを弾いたり、ハワイアンではない

曲を持ち込んで、一曲全部のメロディを弾いたりして、メリハリを付ける役どころとなっている。

この仲間の一人に昔、太平洋航路の客船「氷川丸」にパーサーとして乗っていた人がいて、ある時二人で横浜山下公園を歩いていたら、目の前に繫留された氷川丸船上甲板にビア・ガーデンがあり、ハワイアン演奏に格好の場所があるではないか！

「日本郵船の後輩に連絡してみるから、あとの纏めをやってくれるか」と言われ一手に引き受けて、船の事務局やニュー・トウキョウと交渉開始、色々難題もあったが06年の夏に3晩（一晚当り3ステージ）を担当することになった。これを聞きつけた或るフラダンスのグループ（15人）も参加することになり、賑やかなイベントになった。

その後、この教室では進歩が少ないと感じていた仲間1人と力を合わせて、外部の4人を集めて別バンドを結成、6人で昨年夏には鎌倉由比ヶ浜の「海の家」で、ライブをやって好評だった。

又、一昔前に有名であった女性ボーカル・グループ「スリー・グレーセス」が昨年夏、逗子文化ホールでハワイアン特集公演をした際に、ウクレレ+



1) 氷川丸、上甲板での演奏風景（一番奥こちら向き、左が筆者）

ボーカルで鎌倉・逗子を中心に活動しているアマ女性グループ（20人）が前座として出演することになったのだが、ご縁があってギター・ベースのリズム部門演奏での協力依頼があり参加した。アマ参加ではあるが、プロの公演ステージに立つのはこれが初めてとなった。

現在この女性グループ中の4人と合流して、5月に鎌倉にてライブ・イベントを行う計画が進行中である。

同じ去年の末、元日商岩井の或る部門のOB忘年会でも、人数を3人に絞って演奏した。ハワイアン曲に加えて、時節柄クリスマス・ソング2曲を皆で歌う形としたが、皆さん海外生活が長いせいか、昔を思い出すように、しみりと且つ英語の歌詞を大声で歌ってくれたのには、こちらの方が感動した。

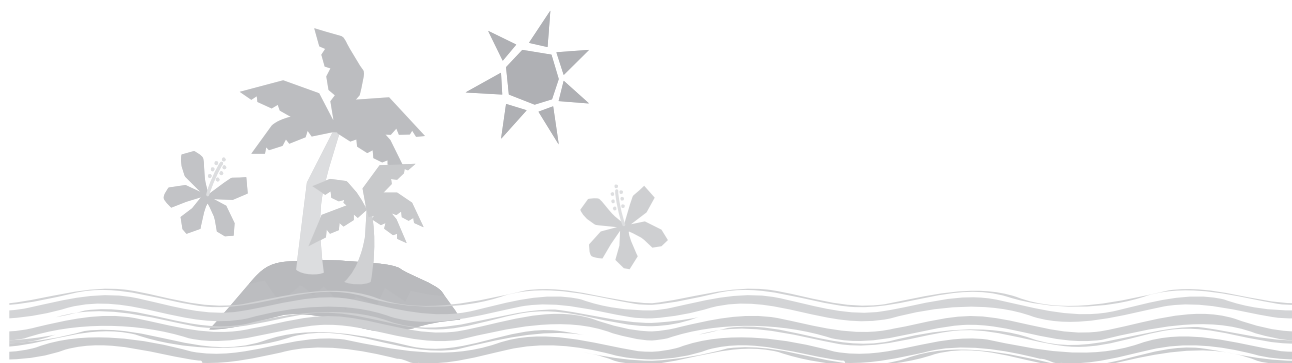
今は、4つのグループに関わって忙しくなってきた。

最近のハワイアン音楽では、スチール・ギターを使わないバンドが多く、曲調も随分変わって、ほんわりとした感じのものが少なくなっている。或るお年寄りの多い場所での演奏の後に、一人が寄って来て、「最近別の場所でハワイアンをやっていると聞いて行ったが、全然ハワイアンの感じがしなかった。でも、今日の演奏では知った曲も多く、久しぶりに胸が熱くなった。」と言ってくれたので、わが意を得たりの感じであった。

我々は、プロにはとても及ばないので、我々の年代がその昔聴いた・耳にした懐かしいスタンダード・ハワイアン曲を主なレパートリーとしている。勝手に名付けて「ナツメロ・ハワイアン」と呼んでいる。



2) 昨年末横須賀市内での演奏途中、小泉進次郎氏  
(中央、元首相の次男)が飛び入り。早くも選挙運動？



## 私の 夢中 熱中

マジック挑戦——元気のタネ——ボランティア交流——手先動かし老化防止

阿 賀 信 夫

今から10年前、64歳で会社卒業を前にした春、これからの長い日々を如何に過ごすか悩んでいた時期、たまたま柏市主催の5日間日替わり講習会（マジック、川柳、絵手紙等）に顔をだしたのがきっかけで、マジックの面白さにはまってしまいました。

マジックを教わり、覚えたとしても、普通の人の場合、忘年会や同窓会等での余興以外、あまり人に見せる機会が無く、又一人で練習するのも限界があると思っていた折、柏市を拠点に活躍する「柏マジッククラブ、会員数60名」では、月2回の講習会の他慰問やチャリティ等のステージを年百回以上こなし、見せる事に大きな力を注いでいるクラブがある事を知り早速入会しました。

マジックは仲間内で楽しむ物ではなく、他人に見せて初めて成立する世界です。マジックが出来ると云う事は、見ている人をどれだけ驚かせることが出来るかと言うことだと思います。仮にマジックセットを買ってきて出来るようになって、家で何回かやれば飽きてしまうでしょう、だから、そういう見せ場が無いとなかなか続かないものです。

マジッククラブ入会后、取り付かれたように練習して暫くして初ステージに立ち、観客のどよめき拍手喝采を受けた時、何ともいえない達成感を味わいました。

プロじゃないので、着るものについては何でもいいのですが観客にアピールするような雰囲気をつくるのも、大切な要素だと思うのです。蝶ネクタイと、ラメ入りのチョッキ、エナメル靴、自然に姿勢がよくなり演技が映えるのです。（妻には、最近、前かがみで背中が丸くなってきた。ステージの姿勢が一番シャンとしてカッコがイイとよく言われています。）

最近では、舞台度胸もつきマジシャンとしての振る舞いも徐々に板に付いてきたと思うのですが（独りよがりかも）失敗が絶えません。隠した筈のコインをばらまいたり、時には手順を忘れて、マジックは手順が総て一つでも間違えるとそのマジックは成立しないのです。

結局は練習しかないのです。練習さえ充分しておれば、失敗しても慌てず失敗したことが判らないように出来るのです。マジシャンに資格は要らないが、プロとアマを分けているのはこのあたりだろうと思うのです。



失敗とは、別だが、苦手なステージと云うのがあり、それは幼稚園児や小学生等、子供相手の場合、チョットでも仕掛けが見えたりすると（見えてない場合でも）“アツ見えた”と来ますから情け容赦ない矢玉が飛んできて、初めの内は、こちらがドキドキして手順を忘れそうになった事も度々あり、やり易いのがお年寄り相手の時、何をやっても拍手喝采してくれます。われわれの間では、子供会のステージをこなせたら、マジシャンとしては黒帯と言うことです。

石の上にも、10年余り、その間、子供会、老人会、デイサービス、同窓会等など、出演回数160回のステージに立つ機会を持つことが出来ました。取り分け、2002年にスリランカ／わが国との国交樹立50周年記念事業の一環として、柏マジッククラブ員16人からなるチームでマジック興行（ボランティア活動）に参加してコロンボ、シーギリヤ、キャララワ、地区で出演したことは、終生忘れない楽しい思い出です。（妻も、ビデオ撮影の役割にて参加してくれました。）スリランカ国外務省から、参加者一人一人に感謝状を頂きました。

今後の手品の楽しみの一つ目は、手作りの道具で独自の手品を開発する楽しみです。それには、小生のもう一つの趣味の陶芸が大いに役立つのではないかと考え、仕掛けを施した湯呑み茶碗、ドンブリ等をマジックで披露しています。“よいしょアラツ不思議、この茶碗、水を入れて真っ逆

様にしても水はこぼれません”“コインを、湯飲みに入れる、消える、脇の下からコインが現れる”陶芸とマジックの二つの趣味のコラボレーションなのです。

二つ目の楽しみは、4人の孫達に、マジックを見せ興味を持たせ弟子の育成を図ることです。既に、4歳の孫の一人は、非常に強い関心を示しており、有望な弟子1号になりそうです。

#### マジックの効用

- 1) マジックは物を握ったりはさんだり指先を使うし手順をアレコレ考えるので、老化防止に役立つ。
- 2) 人前に立つ機会多く、身なりに気を使い気持ちに張りができる。
- 3) 現代は人とのコミュニケーションを取るのが難しい時代だが、マジックは年代それぞれの背景を問わず、一瞬にして人を引きつけるものがある。
- 4) 人を楽しませる為の様々の工夫が、自分の生活の幅を広げることにもなる。

皆さん、気軽にマジックで、自分なりの楽しみを探してみれば如何でしょうか—————

平成21年3月11日記



2009年3月、世田谷代田の老人クラブにて演技する筆者。



## 加齢成る一族

山 邑 陽 一

先月（2008年4月）から、妻と共に神戸の舞子海岸にある介護付マンションに入居した。大分で仕事をしていたときは、毎晩関鯖のさしみ、等で夕食をしてから、舞子浜温泉という住宅地のど真ん中の天然温泉に入浴していたが、今は本物の舞子浜に住んでいる。ここに至る経緯と、ここでの入居者たちの暮らしを紹介し、最後に今の日本社会の問題を少し考えてみたい。

今月中国で起きた地震は世界最大規模のものの一つだといわれるが、1995年1月の阪神淡路大震災は、震度からいえばそれと同じくらいで、阪神・神戸に大きな被害を与えた。多くの人が亡くなり、また住居を失った。筆者もまた、その被災者のひとりであって、妻と二人で住んでいた家も、父母が住んでいた家もつぶれ、父は家具の倒壊で亡くなり、かろうじて妻の両親の家だけが残ったので、母を妹に、妻を岳父母にそれぞれ預け、自分は東京での単身赴任を続けて社員寮に住み、週末だけ西宮にある岳父母の家に帰った。勤務先の商社も大阪本社の和室や地下浴室を地震直後に被災者に開放して、勤務の継続を助けてくれた。一方このために、妻は自らの父母の老後の面倒をみるようになった。

商社を退職して2000年4月に大学教授として大分に転職してからも、この状態が続いた。その後岳父が亡くなり、2006年3月に大学を退職する直前に岳母も亡くなって、関西に帰った筆者と妻との二人の生活が西宮で始まったが、妻は長年の父母の介護に疲れて引きこもり症となり、加えて家の階段から転落して足を骨折し、今度は通いの家政婦の助けを借りて、筆者が妻の生活の面倒を見ることになった。

このころに商社勤務時代の旧友の紹介で知ったのが、介護つきマンションである。まだ2007年3月に70歳になったばかりだし、仕事も勉強も続けたい。

もし筆者が体を悪くしたら、老後は老々介護になり、二人の生活が苦渋に陥る。早めに今の段階

で手を打たなければならない。介護つきマンションを調べた。

介護つきマンションというものは、10年以上前からあるけれど、古いものはみな不評である。それに反してこの2-3年以内に出来たものは、価格（利用権の対価と毎月の管理費）の高さ（関東地区に比べるとはるかに安い）を別にすれば、施設の完備と生活空間の快適さ、および給付されるサービスの良さから考えて、入居者には大変好評である。1階部分だけがペットが飼える関西では唯一の介護つきマンションとして目をつけ、舞子海岸の現住所を2007年5月に購入し、最初は書斎兼セカンドハウスとしていたが、それではもったいないので、妻を説得して2008年4月に二人でここへ転入した。共同生活が初体験となる妻は、適応不全から徐々に回復して、今では食堂でいつも会う人たちに、にこやかに挨拶を交わすまでにいった。

この介護つきマンションは、基本コンセプトがしっかりしている。第一は、老後における子からの自立・親からの自立、第二は、妻からの自立・夫からの自立、第三は、尊厳死（いわゆるピンピンコロリ）の実現の三つであろう。健常者と被介護者の共生も実現できる。二人入居者も一人入居者も、みなこれを実現し、あるいは実現を目指して、各人が楽しく暮らしている。健康相談室があり、非常勤の医師がおり看護師がいる。介護室があり介護士が常勤している。来客用ファミリールームがあり、大きな食堂がある。明石海峡を望む展望と内装が美しいこの食堂では、朝から晩まで食事や軽食・飲み物が得られる。私鉄とJRの駅まで専用の無料バスがあり、通勤や外出に便利である。バスで行ける垂水駅は歩いて近いが、周辺には銀行・商店街・大規模店舗・医院・薬局が多く、区役所・鮮魚の直売所などもあって、生活至便である。

入居するとすぐ、電子メールとホームページの個人アドレスが得られる。パソコンルーム・シア

ターラーム・娯楽室・体育ジム・カラオケルーム・アトリエ兼陶芸室、応接室や館内随所にある応接セットが無料で使用でき、入居者が参加できる催し物や講演会・映画鑑賞・行楽の企画・実行が絶えず行われて、予定表が発表される。共同浴室も豪華で、天然温泉の成分を人工的に含ませた露天風呂があり、浴槽の仕切りの上からすぐ前に、明石海峡の船の行き 来が見える。演歌で歌われる、背伸びして見る海峡を～という歌詞そのままの情景である。晩に入浴すると、ここから見る明石海峡大橋のライトアップががら、楽しい人生を送っている。加齢成る一族にとっての城である。

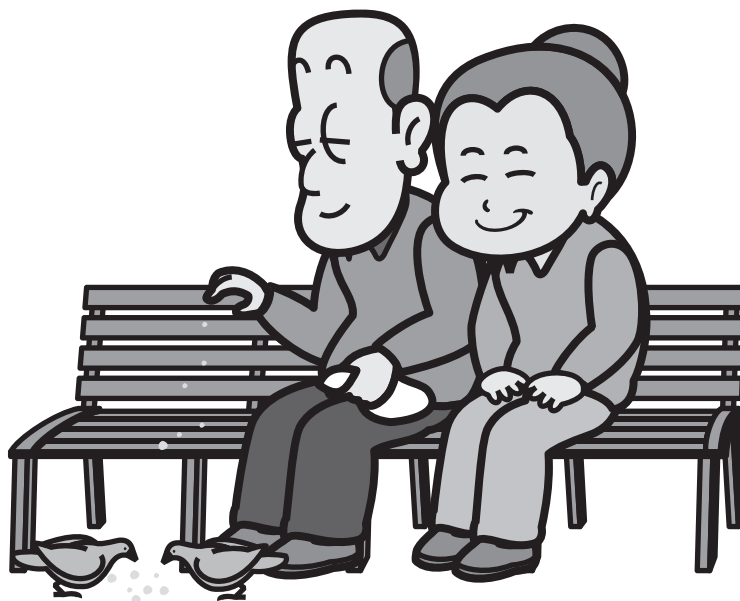
大分での6年間の教育・研究職を通じて痛感したことが一つある。留学生は別として、日本人学生についていうならば、親の子離れ・子の親離れがまだ十分に進んでいないことである。卒業後に郷里へ帰って就職したいと望む学生が多い。ゆとりの教育の後遺症もあろう。少子化の影響もある

う。だがこれは大きな社会問題である。卒業したら国内・国外を問わず、学習と研究の成果を活かせる職場へと子が羽ばたくことを、親も子も願い実行しなければならない。

親離れ・子離れが出来ない人生観を持ったままの子が就職し結婚すると、社会生活や夫婦生活が幸福でなくなる。親子・夫婦の中で一方が他方に過度に依存し、一方がそれを負担に感じる関係が生じるからである。

上記のような明確なコンセプトをもった介護つきマンションが出現したことは、楽しい親子関係・楽しい社会生活・楽しい夫婦関係を維持するために、自分が生涯自立して働きたい、

あるいは余生を楽しみたいと願う多くの人々に、勇気を与えてくれる。親子介護・夫婦介護・老々介護の負担から解放されて、明るい人生を歩むことができるようになるからである。



### \*\*\*大阪社友会ニュース\*\*\*

— 編集部 —

#### ＝ 2009年度 新年互礼会開催＝

1月7日、大阪中之島ビル5階会議場（旧ニチメンビル）に於いて、大阪社友会の新年互礼会が開催された。

午前11時、尾子明代表世話人の司会で互礼会がはじまり、田淵弘通会長から年頭の挨拶、続いて御来賓の双日(株)代表取締役土橋昭夫会長のご挨拶を頂いた。

当日、米寿を迎えられた会員9名、既に米寿を越えられた10名、計19名の会員に長寿のお祝いを致しました。

その内、当日ご出席のご長寿会員は、加藤義民、福原松一、中田清一郎、清水 忠、大野 嘉の皆さんでした。

やがて宴は、田中義巳元社長の御発声で乾杯の儀となった。

参加者総数130名余は華やかな雰囲気にもまれ歓談と会食を楽しまれました。

午後2時、高橋正副会長による中締め後も、話は弾み名残を惜しみつつお開きとなった。

Nmnm

### 双日(株)社友会関係窓口

双日シェアードサービス(株)

人事総務サービス部 青木聡弥部長 電話 03-5520-4088 FAX 03-5520-2390

Nmnm





## 阿多宏太郎さん追悼

蜷 川 親 秀

### 略 歴

昭和17年（1942）～51年（1976）

- 17年 入社。ランゲーン店。ビルマ米対日輸出
- 20年 ランゲーン店全員ビルマ防衛軍に応召
- 21年 復員。東京支店。小麦輸入協会に出向
- 22年 食糧部。輸入食糧輸送の政府代行業務
- 23年 （ニチメンの代行取扱、業界首位に）
- 25年 米軍小麦粉特需で日清製粉代行商社に  
（45年設立の阪神サイロとヤマザキナビスコ両合弁会社の実現基盤）
- 27年 ポートランド店長。米麦対日輸出と三国開拓
- 29年 食糧部。スペイン米 10万トン初輸入開拓
- 31年 ランゲーン店長
- 33年 静岡店長
- 35年 マニラ店長
- 39年 取締役。名古屋支社長
- 41年 香港店長
- 44年 大阪化工本部長
- 47年 常務
- 51年 退任。愛知県各務原市に居住

### 所 感

正月の松が取れた晩、『アタです』と敏子夫人からの電話。なんで奥さんが？と思いつつ出た途端、『実は主人が1月2日に亡くなりました。』

法要は身内で済ませ、お知らせも控えましたが、お宅には、と考えて——』とのお話。余りの驚きに、一瞬、返す言葉を失いました。

思えば昨春の食料OB会に、付き添いも杖もなしで上京。壇上にシャンと立ってスピーチを一席、乾杯の音頭も取られたあの元気なお姿が、今も眼に残ります。

ご夫人によれば、『12月初めは常連と麻雀会。17日の満93才誕生会には250グラムのステーキをペロリ平らげて、家族もビックリ。それが24日に体調不良で検査入院後、俄かに容態が改まり衰

弱も進んで、年明けの2日午後3時、眠るように逝きました』と。

「略歴」に見る通り阿多さんは、敗戦のビルマから生還した強運と度胸をバネに、戦後日本青年が等しく胸に誓った祖国再建の使命を、貿易立国の先駆けニチメンの仕事に賭けて、全力投球の前半生でした。

『オイ、チョット来い。用件は歩きながら話す』の調子で、折柄カーボン紙を用箋に挟み手書きコピー作成中の私を引ッ立て、いきなり仕事現場に連れて行かされたこと幾たびか？正に阿多教官の新兵指導は、「して見せて 云って聞かせて させて見て——」の道歌を地で行くものでした。



何時も「ここと思えば またあちら」の変幻自在ぶりから、「牛若丸」と渾名された阿多さんに随いて行くのが精一杯の私に、やがて判って来たことがあります。

それは、あの唐突と思える行動の前に、必ず周到な準備過程と緻密な状況判断があり、メモや資料と格闘する孤独な時間のあったことです。

これ以後、私はボスに対する畏敬の念を深め、仕事創りの楽しさと達成感の醍醐味に目覚めました。

阿多さんのニチメン食糧部門創生期における奮闘と貢献は、今や「知る人ぞ知る」ですが、その志と情熱は後進の血脈の中に流れ続け、絶えることはないでしょう。

## 余 話

阿多さんの思い出は麻雀と共にある——と申しでは不謹慎ながら、共感の面々も社友会には少ないのでは？

『大局観・運勢・進退の直観的判断力涵養に、麻雀は最適のゲームだ。相場商品を扱う商社マンは、須く麻雀に熟達すべし』とは、阿多さんの口癖でした。

勿論これは一面の真理ですが、ご当人の本音は『好きなんだ。面白いんだよ』に尽きると私は思います。自らの経験から——。

所で、八代亜紀が「舟唄」の中で歌う「ダンチョネ」の一節は、戦時下の航空兵による宴会ソングを阿久悠が替え唄にしたもので、元唄は『沖のかもめエと 飛行機乗オリはヨ どこで散るやらネ 果てるウやら ダンチョネエ』でした。因みにダンチョネとは、「断腸の念い」から来た囃子言葉

です。

その二番に、明治期の書生唄「デカンショ節」から借用の一節があり、『俺が死んだァら 三途ウの河原でヨ 鬼を集めてネ 相撲とる』と云う文句でした。

さてこれは、某年・某国・某店長宅で卓を囲んでのひと幕です。

『アガリ、ヤラレタ』の聲が飛び交う中で、誰かがこのひと節を低く唸り出しました。

それまで黙々と牌に専念していた阿多さんが、突如『オイ、「俺が死んだァら 三途ウの河原でヨ」と口を挟み、「鬼を集めてネ マージャンするウ ダンチョネエ」とやるなァ』と云われたのです。それも生真面目な顔で——。

これには一同『ゴモットモ』と納得。序に誰かが『麻雀出来る鬼さんが居てくれないと、困りますよねエ』と茶化して、またひと笑いでした。

## 追 悼

ご夫人の述懐では、『どうも臨終の前に麻雀の夢を見ていたらしく、突然「オイ、九万！」と声を発したり、頭に手をやってシマッタ！の仕種をしたりで、本当に大往生でした』とのことでした。

そこで阿多さん——

『三途の河原ではもう 場が立っていますか？』

『案ずるどころか

顔見知りの鬼が多くて 人選にお困りでは？』

それに——

追々 ジャンキ（雀鬼）も増えますから

雀卓の用意を お願いしますよ

再見

## 故真保博一さんを偲ぶ

長谷川 洋

2009年1月、『ホトケの真保さん』が、本当に仏になってあの世に旅立たれた。享年84歳。昭和23年、東大経済学部卒、即、日綿実業に入社、鉄鋼部門に配属される。

小生は1963年～66年（昭和38年～41年）の三年間、インド・カルカッタ支店で真保支店長の下で初めての海外駐在を経験する。

その頃、日本では、東京オリンピックが開催され、米国では、J.F.Kennedy 大統領が暗殺された。中国と印度は国境をめぐり紛争を繰り返していた。

当時、真保さん38歳、小生27歳。その後、お互いに、あちこち海外勤務をしながらも、日本に戻れば、当時の駐在仲間と『カルカッタ会』という戦友会をやって来た。当時の三井物産、日商岩井、大倉商事、野村貿易、阪和興業、NYK、三井OSK、JAL等の皆様が、40年に亘って、集まっている。

去年、真保さん、ご欠席で、心配していた矢先の訃報でした。

戦友会では、毎回、真保さんはお得意のインド讃歌(?)を歌われた。

♪ここは御国を何百里～、離れて遠きベンガルの～赤い夕日に照らされて～♪ と歌うのであった。(ベンガルは言うまでもなく、Calcuttaー現Kolkataーを州都とするWest Bengal州のこと)。

一時帰国制度も無く、銀シャリもマグロの刺身も食わずに、タンドリー・チキンとカレーとナンで生き抜いた時代である。

紅灯の巷は勿論ない。ゴルフ、麻雀、社宅でのサロン・トーキングで余暇を過ごした。

当時の駐在員は、柳田望さんの後任、久保貞二さん、鳥巢朗さんの後任、故江口健一郎君、林義人さんの後任、長谷川だった。

休暇には、旅行もした。真保さん以下全駐在員と、ある年、ダージリンに旅行をした。

ヒマラヤ山脈南麓で、紅茶の産地で有名だが、

タイガー・ヒルの展望台から眺めた朝日に映えるカンチェンジュンガ山の印象は未だ鮮烈である。

この旅行に、ビルマから旅行中の故手塚敏夫さんも加わり楽しい旅行の思い出であった。

真保さん、謹厳実直、真面目な御方であったのでエピソードに乏しいものの酒豪で、談話は楽しかった。鉄鋼の豊間根さん、金やん、こと金田晟さんという大先輩のお話も、よくされていた。

真保さんは、その後、1972年頃、ソ連時代のモスクワの所長となって出られた。

当時の駐在員、高木恒久さんによると、モスクワでも『ホトケの真保さん』に変わりはなく、細かいことをクダクダ言わずに豪快な哲学を持った名所長だったと、当時の駐在員達に、今も記憶されているそうです。

50歳の誕生日は、モスクワの北京料理店で部下4名と祝ったものの、部下は酒の飲めないものばかり、それではと所長の社宅に行き麻雀を楽しまれた由。

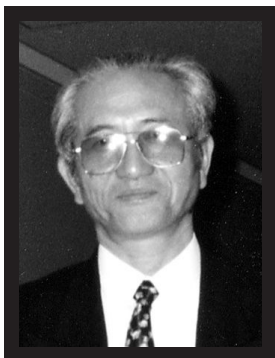
モスクワ駐在員仲間の集まり『オールド・モスクビッチ会』の初代会長でもあった。

“田園調布に家が建つ”と言われたが、元々親御さんの代から其処に住まれ、楽勝のケースで、お二人のご子息も立派に成長されご活躍で、後顧の憂い無く旅立たれたと思います。いずれ、そちらに参りますが、ゆっくり行きたいと存じます。

ご冥福をお祈りいたします。 合掌



真保さんを囲んで、向って左に久保貞二さん、右に筆者。



## 追悼 故 西本定義君

高 木 亨 一

ニチメンプラント本部での付き合いは長い、そして、その後のOB会、はたまた東京社友会立ち上げに至るまで彼との関わりは深い。

突然の訃報に呆然、暗然となりながらも、彼にははっきり別れを告げようと思い斎場に駆けつけた。

逗子の我が家を出て2時間半を要して常磐線の佐貫の駅に着く、

そこより一両編成の関東鉄道に乗り継ぎ、龍ヶ崎駅に着き、更にタクシーを利用して、やっとのことで、斎場のJAホール龍ヶ崎に辿りついた。もう家を出てから3時間が経っていた。

西本君とは、昭和36年ニチメン同期入社。彼は東京外国語大学英米科卒。土佐の高知出身の“いごっそう”で頑固一徹、一穴主義で類稀なる愛妻家、裏を返せば恐妻家、外語出身のイメージと程遠い職人肌の男である。

実際に入社以来、東独ツァイス社の製品輸入を手がけ、ドイツ語、その技術用語もマスターするほどの勉強家だった。自称、東京外語の“工学部”出身。

いまも記憶に残る彼との仕事、それは1978年東独向けフェロアロイ合金プラントの商談の為、プラントメーカー神戸製鋼の営業・技術陣を約10名も引きつれ東ベルリンに乗り込み彼がテクニカル・パート、私がコマーシャル・パートを受け持ち、6ヶ月も長期戦を闘ったことだ。

葬儀はごく親しい人たちの集まりのようで小規模なまとまりのある静かなものだった。聞けば彼は病魔ガンとの壮絶な闘いがあったそう。その為か、ご家族の方々には痛切な悲しみの風情と

いうより、なにか解放された安堵感が感じられた。

お焼香の順番が回って来た。祭壇の遺影が何か言いたそうな顔をしていた。

多分、こんな事を言いたかったのだろう。『遠路遙々すまないな』、『パソコンの技術は上達したか？だから他の人も誘ってパソコンの学校へ行けと言っただろう』と。

私は、彼には心で呟いた『東独向け商談で世話になったことは忘れない』、そして『会社卒業後のプラント本部OB会立ち上げに当たり、得意のPC技術を駆使して快く協力してくれたこと、いずれも感謝している』。

更には拡大OB会“機友会”、そして“ニチメン東京社友会”立ち上げの過程でも彼は獅子奮迅の協力してくれた。

ある時、お互いに事にあたり熱心さの余り、お互いの頑固さがぶつかり合い、些細な意見の衝突から仲違いをして、今日まで訣別した状態で来た。

従って残念ながら彼の病気のことは知らずにいた。

式の最後に、喪主のご長男のご挨拶があったが、親爺に似ずにハンサムな好青年だった。西本君を乗せた霊柩車は最後にクラクションを鳴らして動き出した。

多分、彼は『高木よ、白黒決着をつけるのはあの世でしょう。じゃあ、お先に!』と言っている様だった。

まあ、それまでは静かに眠りたまえ、ご冥福を祈る。合掌

## 訃 報

(2009年04月20日現在)

## ニチメン東京社友会

氏 名		死亡年月日	享 年
納 尚 美	鉄原・食料	2008年11月24日	82歳
五十嵐 敏 (* )	鉄鋼	2008年11月27日	55歳
阿 多 宏 太 郎	食料	2009年01月02日	93歳
真 保 博 一	鉄原	2009年01月11日	85歳
西 本 定 義	機械	2009年03月24日	70歳
堀 井 虎 雄	木材	2009年04月07日	69歳
高 木 勇 *	財務/名古屋	2009年04月14日	88歳

## ニチメン大阪社友会

氏 名		死亡年月日	享 年
日 名 子 敬 介	財務	2008年11月26日	66歳
坂 口 昭 美	機械	2008年11月27日	73歳
原 田 義 美	監査	2008年12月04日	72歳
佐 藤 俊 幸	繊維	2008年12月04日	67歳
澤 田 芳 夫	化工	2008年12月18日	83歳
大 木 蓉 子	法務	2009年01月05日	82歳
矢 守 弥 三	監査	2009年01月05日	80歳
長 谷 明	経理	2009年01月13日	81歳
小 野 村 久 弥	財務	2009年01月17日	83歳
廣 岡 正 勝	化工	2009年02月02日	72歳
渡 部 健 二	総務	2009年03月19日	64歳

ご冥福を、お祈りいたします。合掌





## 保 養 所 の ご 案 内

このたび、双日健康保険組合が保養所の管理運営を委託しております株式会社ビスタリゾートとの間で、別冊「VISTA HOTELS GUIDE 2008」に記載されております直営施設につきまして、ニチメン社友会の会員も利用できるようになりました。

申込みは双日健康保険組合のHP(<http://www.sojitz-kenpo.com/index.html>のビスタリゾート直営施設にある申請書)、もしくは、別紙FAX申込書に必要事項を記入のうえ、(株)ビスタリゾートまで直接申込お願いします。

尚、別冊掲載施設の内、「メープルコート軽井沢(旧ニチメン軽井沢保養所)」と「ラフィーネ伊東」は双日健保所有、「御殿場 遊彩の樹」は双日所有ですので、下記の特典料金が適用されますが、その他の施設は双日健保以外の他社健保の所有ですので、利用料金は別冊記載の料金となります。

		軽井沢	伊東	御殿場
平日プラン	一泊二食	6,090円	6,090円	6,000円
休前日プラン(年末年始含)	同	7,140円	7,140円	7,000 - 8,000円

予約先：ビスタリゾート予約センター  
 TEL：03-3219-1331  
 FAX：03-3219-1333



Nmnm

### ☆☆☆ 双日株式会社からのお知らせ ☆☆☆

双日株式会社 人事総務部

日本と各国との社会保障協定について

各国との社会保障協定の状況につきまして、以下の通りとなっております。

ドイツ、イギリス、韓国、アメリカ、ベルギー、フランス、カナダに続き、本年・平成21年1月にオーストラリアが協定発効となり、3月にはオランダとの協定が発効予定となっております。チェコ・スペインについては、発効に向け両国で準備中、また、イタリアについては現在協定に関して交渉中、加えて、アイルランド、ハンガリー、スイス、スウェーデンとの交渉が準備中との状況となっております。

尚、社会保障庁ホームページの社会保障のコーナーにおいて、各国の年金請求等、各種関連情報が掲載されており、各国により、年金請求の様式も違っておりますので、ご参照頂ければと存じます。

社会保障庁ホームページ：<http://www.sia.go.jp/>

社会保障庁ホームページ内 各国との社会保障協定状況：<http://www.sia.go.jp/seido/kyotei/index.htm>

社会保障庁ホームページ内 申請書関係：<http://www.sia.go.jp/seido/kyotei/download/index.html>

(例 社会保障庁ホームページ内：オーストラリアの年金請求に関する請求書類など

：<http://www.sia.go.jp/seido/kyotei/download/tetuzuki27.htm>)



## 【編集後記】

今年は桜の花見の時期がいつもより長く、ゆっくり行く春を惜しむことが出来た。  
そして今年も、はや三分の一が過ぎ、新緑が眩しい季節となってきた。

おもうに吾らには、もはや人生の新緑の候が来ない。  
花の咲かない枯れススキだ。徒花でもいいから咲いてほしいもの。  
しかし心では青春の気概いまだ失われずの生き方を心掛けたいもの。

カラオケでは、『丘は花ざかり』、『青春のパラダイス』、『青春時代』、そして『五番街のマリー』までを唄い上げて、気持ちだけは決して老けない。

新生OB会；東京社友会も、ご案内の如く、今夏で第四回総会・懇親会を迎える。確かに変貌著しい大先輩、ご同輩をもお見受けするものの、お話を交わせば、一挙に昔に戻ることが出来る。往時茫々が一瞬にして懐かしい昔日の姿が脳裏に蘇えってくる。みんなに会えてよかったの思いで、いつも家路に着く。

今年も、どうぞ総会・懇親会に御出まし下さい。  
世話人の平均年齢は、まさに“アラ70”または“アラ後期高齢者”かもしれないが、夫々の役割を誠心誠意、果たして行くつもりです。

この会報もついに第六号を数えることが出来た。  
ご協力いただいた皆様に感謝しつつ、今後とも益々のご助力をお願いいたします。尚、会員寄稿文については、原則として、そのまま掲載していますが、今回は重厚長大な力作が見られました。

最後に、突然物故者リストに入ってしまった元プラント本部の西本定義さんについて。  
彼は本会の設立時のMVPであります。  
双日㈱がOB会復活について全ニチメンOBに出したアンケートの整理と煩雑な名簿作成を実に効率よく作成し、本会立ち上げの促進に寄与された。  
ご冥福を心よりお祈りいたします。

(長谷川 洋)

## ニチメン東京社友会

〒107-8655 東京都港区赤坂2-14-7  
双日㈱内 東館17F

発行人	；倉又 則夫	代表世話人
編集責任者	；長谷川 洋	世話人
アドバイザー・スタッフ	；高木 亨一	世話人
	；倉持 次雄	世話人
印刷所	；(有) 関内	印刷